

57—1・2次隊

協力隊派遣受入希望調査表

昭和56年10月

NO. 2

加工・保守操作・土木建築部門

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/333.9

SE

57-1



57年度第1・2次隊協力隊員派遣受人希望調査表

目 次

No. 2

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
201 陶 磁 器	1	フィリピン	有	68	320 電 気 機 器	2	マ ラ ウ イ	有	102
	1	フィリピン	有	69		1	ガ ー ナ		
	1	タ イ	有	70		2	ホンデュラス	有	103
	1	ガ ー ナ	有	71		1	ト ン ガ	有	104
	1	コスタ・リカ	有	72		1	ソロモン諸島	有	105
210 竹 工 芸	1	フィリピン	有	73	1	P.ニューギニア			
	1	スリ・ランカ	有	74	1	フィリピン	有	106	
	1	ガ ー ナ			1	タ イ			
211 木 工	1	コスタリカ	有	75	1	スリ・ランカ	有	107	
	1	マレイシア			1	ケ ニ ア	有	108	
	1	モ ロ ッ コ	有	76	1	ザ ン ビ ア	有	109	
	1	タンザニア	有	77	1	ガ ー ナ			
	1	ザ ン ビ ア	有	78	1	ホンデュラス	有	110	
230 冶 金 造	1	コスタ・リカ	有	79	321 自 家 発 電 機	1	ケ ニ ア		
	1	タ イ	有	80		1	ガ ー ナ	有	111
231 鋳 造	1	フィリピン	有	81	322 電 気 工 事	1	フィリピン	有	112
	1	マレイシア				1	バングラデシュ	有	113
	1	ホンデュラス	有	82		1	バングラデシュ		
232 鍛 造 接	1	タンザニア	有	83	1	ケ ニ ア	有	114	
	1	フィリピン	有	84	1	ガ ー ナ			
240 溶 接	1	フィリピン	有	85	330 電 子 機 器	1	リ ベ リ ア	有	115
	1	マレイシア				1	フィリピン	有	116
	1	バングラデシュ	有	86		1	フィリピン	有	117
	1	バングラデシュ				1	フィリピン	有	118
	1	タンザニア	有	87		1	フィリピン	有	119
250 塗 装 色 刷	1	マ ラ ウ イ	有	88	1	マレイシア	有	120	
	1	タンザニア	有	89	1	マレイシア	有	121	
263 染 色 刷	1	マレイシア	有		1	マレイシア	有	122	
	1	ガ ー ナ			1	マレイシア			
270 印 刷	1	ホンデュラス	有	90	1	マレイシア			
	1	ホンデュラス	有	91	1	マレイシア			
281 プラスティック成形	1	タ イ			1	タ イ			
290 小 型 造 船	1	フィリピン	有	92	1	タ イ			
	1	フィリピン	有	93	1	バングラデシュ	有	123	
311 工 作 機 械	1	マレイシア	有	94	1	バングラデシュ			
	1	マレイシア	有	95	1	スリ・ランカ	有	124	
	1	マレイシア			2	テュニジア	有	125	
	1	マレイシア			1	テュニジア	有	126	
	1	バングラデシュ			1	タンザニア			
	1	タンザニア	有	96	1	ザ ン ビ ア	有	127	
	1	ガ ー ナ			1	ザ ン ビ ア	有	128	
	1	ホンデュラス	有	97	1	ザ ン ビ ア	有	129	
	312 冷 凍 機 器	1	フィリピン	有	98	1	ザ ン ビ ア	有	130
		1	マレイシア	有	99	1	リ ベ リ ア	有	131
311 工 作 機 械	1	マレイシア			1	ホンデュラス	有	132	
	1	スリ・ランカ	有	100	1	ザ ン ビ ア	有	133	
	1	スリ・ランカ	有	101	331 無 線 通 信 機	1	ザ ン ビ ア	有	133
					332 電 子 計 算 機	1	コスタ・リカ	有	134

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
333 視聴覚機器	2	テュニジア				1	P.ニューギニア		
	1	西サモア	有	135	390 通信電力	1	西サモア	有	168
340 電話交換機	1	スリ・ランカ	有	136	400 土木設計	1	タンザニア		
	1	ケニア	有	137	404 上下水道設計	1	ザンビア	有	169
	1	西サモア	有	138		1	西サモア	有	170
341 電話線路	1	マレイシア	有	139	410 土木施工	1	ネパール	有	171
	2	ネパール	有	140		4	モロッコ	有	172
	1	スリ・ランカ	有	141		1	マラウイ	有	173
	2	ケニア	有	142		1	ザンビア	有	174
351 送信機	1	タンザニア	有	143		1	ザンビア	有	175
360 建設機械	1	フィリピン	有	144		3	ペルー		
	1	フィリピン	有	145		1	P.ニューギニア		
	1	マレイシア	有	146	420 測 量	4	モロッコ	有	176
	1	ケニア				1	モロッコ		
	1	マラウイ	有	147		3	ケニア		
	1	マラウイ	有	148		1	マラウイ	有	177
	1	西サモア	有	149		1	マラウイ	有	178
366 織 機	1	ネパール	有	150	440 建 築	2	モロッコ		
	1	ガーナ	有	151		1	モロッコ		
370 船舶機関	1	シリア	有	152		1	ケニア	有	179
	1	マラウイ	有	153		4	タンザニア	有	180
	1	ホンデュラス				1	ガーナ		
	1	ソロモン諸島	有	154	442 建築設計	1	ザンビア	有	181
	1	P.ニューギニア	有	155		1	ザンビア	有	182
375 航海術	1	バングラデシュ			444 建築施工	1	フィリピン	有	183
	1	シリア				1	ザンビア	有	184
380 自動車整備	1	フィリピン	有	156	447 建築木工	1	フィリピン	有	185
	1	フィリピン	有	157	460 造 園	1	バングラデシュ	有	186
	1	マレイシア	有	158		4	タンザニア	有	187
	1	マレイシア				1	ザンビア	有	188
	1	マレイシア			470 配 管	1	フィリピン	有	189
	1	マレイシア				1	ザンビア	有	190
	1	マレイシア			471 タイル施工	1	フィリピン	有	191
	1	マレイシア							
	1	バングラデシュ							
	1	バングラデシュ							
	3	ネパール	有	159					
	1	テュニジア	有	160					
	1	モロッコ	有	161					
	1	タンザニア	有	162					
	1	タンザニア	有	163					
	1	タンザニア	有	164					
	1	タンザニア	有	165					
	1	ザンビア	有	165					
	1	ガーナ	有	166					
	1	ガーナ	有	166					
	1	ホンデュラス	有	167					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

201 陶 磁 器

記入昭和 53 年 4 月 1 日

調査者氏名 神谷弘司
辻 雄 夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) China Ware	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 陶磁器—B, D(1, 2)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): East Visayan School of Arts and Trades (EVSAT)
(日本語): 東ビサヤ工芸学校

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)
所在地: Dumaguete City 主要都市からの距離 (約) 3 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 教育文化省傘下の工芸学校で東ビサヤ地域の代表的な工芸学校の一つである。小学校から大学まで有る。中心は高校部と大学部で職業訓練教育である。電気科、電子科、自動車整備科、工作機械科、木工科等9科あり生徒数2000名 教職員数110名

ニ. 設備概要: 敷地は4.25㎡と割合広く、木工、工作機械、自動車整備科は歴史古くアメリカの援助のおかげで設備はかなり充実している。

(2) 隊員の業務内容: 計画に添った代表的良質粘土産地ビサヤ地域の窯業発展に専任する。最終目標として、手始めに当校に陶芸科を新設し、地域住民の子弟を教育する。

- ① 隊員の業務上の地位: インストラクター。
- ② 技術の範囲: 製造技術、釉薬技術、焼成技術、窯業技術等全般に亘る。粘土原料調査や釉薬の製造方法、試験結果等を現地人技術者に教える。カクヤムを作成。
- ③ 業務の形態: 生徒に対する理論、実習の指導及び陶芸業者に対する同様の技術指導。
- ④ 対象者: 本工科大学の技術水準、学歴及び年齢: 現在西ビサヤにはない工科大学は MSU-IIT (イロ) の隣に本校自身の訓練生を育成予定。他に当校に建築製図を専攻し、その後、造物の少くはないと見られる (焼成技術 SK6まで経験) の工芸学校卒業の MR. LAPEZ (40才) がいるが、当人は既に主任クラスであるためカクヤムパートにはならない。
- ⑤ 現地で利用すべき材料: 今年度予算は2万5千円を陶器材料購入のために準備しており現地在何かに購入し不足分は購入リストを作成し、現業職員が作成する予定。現存している材料として電気窯 (8kw, 230V, Max temp. 2000°F, 容量 40cm x 40cm x 60cm, 横南式, American Ant clay Co.) があり、温度がオーストラリアで使用可能な範囲内。
- ⑥ 現場にはおらずに個人または日本専門家への配置状況: 直接専門家への配置はないが National Science Development Board 所属の日本専門家植野氏が時々この地域を視察に訪れておられる。
- ⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規申請。
良質の粘土が多量に産出される東ビサヤ地域の地場産業の発展が望まれている。市場は近くにセブ市を以てしているため期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
① 高校卒業以上又は職業高校卒業以上。② 釉薬の知識が十分あること。③ ロクロ技術に本当に精通していること。④ 窯業に関すること (実際に日本で窯を築いたことがなくとも理論を完全にマスターして、窯の設計、修正が出来ること。燃料はコークス、ガス等)。⑤ 現地の陶芸業者と接点があること。⑥ 年齢 24才以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 10 月 2 日

201 陶 磁 器

調査者氏名 新保 昭三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Ceramics	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	陶磁器		

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Pangasinan state university
 (日本語): パンガシナン州立大学

ロ. 隊員勤務先名称: Pangasinan state university 日本語名称 (パンガシナン州立大学)
 所在地: Singayen Pangasinan 主要都市からの距離 (一より〇キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

州立大学に於いての工芸技術の中心の学校であり生徒1250名 教員49人程がある。コースとして Ceramics がある。

ニ. 設備概要: Ceramics 研究室には必要の機器類はあり、取り敢えずの備えは整っている。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位; 大学に於ける Instructor とし、主に技術面の指導を、大学教官 学生に行う。

② 技術の範囲; 出来れば限りの広い技術があることが必要。

③ 業務の形態; 大学教官 学生に対する技術指導

④ 対象者及びそのから: ターゲットの技術水準、学生、及び年齢;

Ceramics のコースには、数名の先生が居り、その中の一人は日本で研修を受けたこともあり、理論については問題はないが、技術の面ではまだあると思われる。

⑤ 取場に於ける日三国人の配置状況; 外国人専任家なし

⑥ 使用する言語; 英語、他なし

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: Pangasinan 州は昔からの陶磁器の生産地であり、日本からの協力を望まれている。2次隊のメンバーを Barrio へ技術指導を行う。今回のような種類の指導に専らより高度な技術を研究、普及を促す計画があるため、期待が持たれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について〇印で囲むこと):

経験年数 3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月15日

201 陶磁器

調査者氏名 坂牧嘉昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語) Ceramic Technology	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 陶磁器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of University Bureau
(日本語): 大学庁

2. 隊員勤務先名称: Chiangmai University 日本語名称 (于エライ大学)
所在地: Chiangmai 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 于エライ大学はタイにある14の国立大学の一つ。人文、教育、社会、理工、農、医、歯、薬、医学、看護の11学部があり、学部の定員は1,159人約4,800人の学生が在籍している。

4. 設備概要: 理化学、JICA派遣の専門家が心理学部に2指導中であり、必要設備は逐次拡充されている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 同大学理学部の Laboratory Assistant。
上記要内容との共同で、窯業と材料科学の実験と理論と担当する。

② 技術範囲: 珪酸塩工学 (Silicate Technology) に関する各種実験、材料科学に関する実験、窯業 (窯炉の技術は不要)。

③ 業務の形態: 上記要内容の範囲で、
① 実験室用機器の操作、
② うわ薬作り、成型、焼成等の実習補助、
③ 材料、窯業に関する化学的、物理的、地質学的方面からの各種研究作業 (学生の) に参加 (助) する。
④ 珪酸塩工学に関する授業の補佐。

④ 加入の中心: 同大学の実験室助手

⑤ 利用する機械: 実験用器具は概ね整備されている。

⑥ 在り国人の配置状況: 同学部にはいない。

⑦ 使用言語: 英語 (英語は必要があるが、生活面は生活面の因子)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: タイ北部は窯業が盛んであるが、工場には高レベルの技術者がいない。これから工場に指導提供できるような技術者を育てることを求められており、そのために現在活躍中の専門家やこれから派遣される予定の協力隊員に希望。同大学理学部幹部の期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大 化学、衛生陶器、セラミックス等の生産工場での研究室主任として2年以上の実験を担うこと。

② 窯業の専門家として、対象が大学生であること、困難。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4 月 日

201 陶 磁 器

調査者氏名 川原

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
グ-十	(現地公用語) セラミック Ceramic	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 陶磁器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 (年) 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): National Vocational Training Institute

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Apetife Vocational Centre 日本語名称 ()

所在地:

主要都市からの距離 (約) 200キロ

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

・ 55年8月より新設予定地での Apetife Vocational Centre には
大工科 佐官科の二つのコースあり、其のうちの1科(大工科)

・ 女子を対象とし、現地に ~~村~~ 村で、~~60名~~ 60名とや、~~11名~~ 11名の工務係
あり、これに10代の男女実業指導員を、~~3名~~ 3名と支援指導員を1名。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 経験3年 . ○ 陶磁器34課に9ヶ月の経験あり

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

201 陶 磁 器

記入昭和56年 9月15日

調査者氏名 表 孝大

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタ・リカ	(現地公用語) TECNOLOGIA CERAMICA	(男) 人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 陶磁器	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD DE COSTA RICA

(日本語): コスタ・リカ大学

ロ. 隊員勤務先名称:

同上

日本語名称 ()

所在地:

サン・トメ

主要都市からの距離 (首都より 2 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 化学学科が中心となり 地方地理、芸術の各(科)が協力しプログラムと押し進めている。各学科の4名の講師が同プログラムに携わっている。

ニ. 設備概要: 設備も学科のものを使用しているが予算を年間20万程度に抑えたい。 (別添字参照)

(2) 隊員の業務内容:

1. 地位: 研究者

2. 技術の範囲: コスタ・リカで産出される原料の調査とその化学的分析。原料及び焼き窯の配合研究。陶磁器技術への助言。

3. 業務の形態: 研究調査 (週に数回土曜調査のため出張)

4. カウンター・パート: 化学と専門とする講師

5. 使用できる技術: 別添字参照

6. 母国語: 西語

7. 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: コスタ・リカはセラミックを生産するのみで陶磁器のほとんどを輸入に頼っており、自国生産が急がれている。コスタ・リカ化学学科が中心となり調査等を行っているが専門知識を有する者は少ない

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 専門的に知識を整理しており、化学に強いこと

2. 1-2の海外経験

3. 適切な海外出張があり、1本の方がよいこと

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月16日

210 竹 工 芸

調査者氏名 新保 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Bamboocraft	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 竹工芸	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education & Culture
(日本語): 教育・文化省

ロ. 隊員勤務先名称: Tomas oppud pilot school 日本語名称 (トマス・オプドパイロット学校)
所在地: Mantahan, Masin Se Leyte 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

地元の住民の現金収入を増すべく特に計画されたものがあり
竹工芸の他、陶磁器、竹工芸の普及を目的として組織された。

ニ. 設備概要:

建物のみであり、他の設備はない。

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: 学校に於ける教員

技術の範囲: 一般市場へ製品を生産する技術が必要

業務の形態: 学校に於ける指導

対象者及びその数: ターゲットの技術水準、量産、及び命令:

対象者の多く、小学校、高学年、学校に行かない
場合、本人、ターゲットは隊員派遣
時に在る予定。

現地の利用出来る機械: ない

使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規

都市に於ける職業教育の進んではいるものの、就職率は余り良く
ない。地元都市に於ける市場産業の育成が最も望ましいと考え
このため、pilot projectとしてこの成果が期待されたい。
これを目的に隊員への期待を込める。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

別に於ける、未来を製品の市場を開拓する生産技術が求められる

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 8月 26日

210 竹 工 芸

調査者氏名 平沢 昭 男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Bamboo Craft	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 竹 工 芸	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 (女性)

- 配属先名称 (現地公用語): National Youth Service Council (NYSC)
(日本語): 国家青年サービス評議会
- 隊員勤務先名称: Akmeemama Training Center 日本語名称 (アキメママ トレーニング センター)
所在地: Walahemdiwa Akmeemama, 主要都市からの距離 (Colomboより 10キロ)
- 事業規模及び内容: 1979年度予算は2000万ルピー(約2億8000万円)。国内全職工71の1-2人程度に相当。これ以外にリ-ソナルオフィスと有するもの、全国に70所(新設中20所を含む)の1-2人程度センターあり、これout-of-schoolの青年達に1-2人程度教育、自らの職の指導訓練を行なっている。
- 設備概要: Centerの事務所のほか木彫り、竹工芸、洋裁等の1-2人程度センターの訓練生の宿舎を有する。(1-2人程度と言っても日本時は規模には劣らない)

(2) 隊員の業務内容:

- 隊員の業務上の地位: インストラー
- 技術上の範囲: 現在いるインストラクターが盛況で、皿等を作っているが、海外向け見ても4や4なものがある。同じカカ類を作るとしても、もう少し細くして作りのものがほしい。カカ、70-4等製品に1-2人程度も任せ、染色した品を作れるように指導すれば製品の販路はもっと拡大されるであろう。
- 業務の形態: 国内各地から集まった訓練生(今のところ女子ばかりで調査の時まで竹工芸を学んでいるのは14人であった)に竹工芸を指導する。(教室型)
- 対象者ほかカウンターパート等: 訓練生は年齢15~20才くらいで、10年の基礎教育から脱退している。カウンターパートは女子インストラクターで年齢30才の女性で、Small Scale Industry Departmentの訓練所で2年間の訓練を受けたあと5年の経験を有する。
- 中3国人等: 現在 UNV から派遣された1-2人程度江の女性から洋裁を教えているが5年12月に任期を終えて帰国する予定。
- 使用する言語: シンハリ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

NYSCは上述のように10年間の基礎教育で2-3人程度出来はかつて青年達に少ない資本投資で生業につけよう、又は始めのころから訓練を行なっており、本業請は第一環である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

年齢 23~25才程度。実務経験 2年程度が望まれる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

210 竹 工 芸

記入昭和 56年 8月 8日

調査者氏名 木田 親典
妻 芳子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Costa Rica	(現地公用語) Artesania de Mimbre y Bambú	(男) 人	訓練開始 57年 6月
コスタリカ	(日本語) 竹籐工芸	(女) 人	派遣予定 57年 10月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Consejo de Nacional Rehabilitacion

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Instituto de Rehabilitacion Profesional

日本語名称 ()

所在地: Heredia (エルティ)

主要都市からの距離 San José より約 8 キロ

ハ. 事業規模及び内容:

教職員数約50名 生徒数約130名 12の教室を持つ身体障害者(身体障害者盲目聾啞者、知的障害、学習障害、情緒障害)を対象とした職能訓練学校

ニ. 設備概要:

現在、ほとんど全ての設備は揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

盲目を除く障害者に対し月曜日より金曜日、午前 8:00 より午後 4:00 までの間竹籐工芸の指導にあたる。また現地人カウンターパートの指導、養成も平行して行う。

① 隊員の業務上の地位: Professor

② 技術の範囲: 竹籐工芸全般に精通し、特に竹工芸に関してはア物は必要である。

③ 業務形態: 教室型 生徒数 10名~12名

④ 対象者のカウンターパートの技術水準 学歴 B21 年令

a. 対象者 学歴 secundaria 卒もしくはそれ以下 年令 16才~40才程度

b. カウンターパート 学歴 univercidad 卒 年令 30才

a, b 共に現在の所高度の技術は持っていない。

⑤ 現地で利用可能な機械: 道具類に用いたはほとんど全て揃っている。材料: 竹、使用可能な5種~6種

籐: 竹籐(2mm~10mm), 平籐(5mm) 民、民皮籐 ナシ。

ナイフ... コスタリカの籐、おろし量が少ない、入手困難

⑥ 現場に於ける外国人及び日米専門家はいない

⑦ 使用する言語: สเปน語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

竹籐工芸に關しての通曉者がいなかった。将来 対象者が自立出来る様に。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 学歴 短大卒程度が望ましい (カリキュラムの作成等を行う為)

2. 取得資格 特にナシ

3. 実務経験 2~3年程度 (竹工芸に關してはア物が出せる事) 籐工芸に關しては籐家具の知識

が望ましい

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

211 木

工

記入昭和 56 年 4 月 8 日

調査者氏名 関木 浩夫

受入希望国名	受入希望業種	受人希望人数	派遣予定	
FD-77	(現地公用語) Menuiserie	(男) 1 人	訓練開始	年 月
	(日本語) 家具製造 (木工)	(女) 人	派遣予定	年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministère des Affaires Sociales et de l'Artisanat*
(日本語): 社会省
2. 隊員勤務先名称: *Centre de Formation Professionnelle* 日本語名称 (木工訓練センター)
所在地: *de Fes* 主要都市からの距離 (フェスより200キロ)
3. 事業規模及び内容: 社会省の木工訓練センターの中心となる。木工技術の普及と職業訓練の向上を図る。毎週教員10名×30名、学生20名。
4. 設備概要: 約10年前に建設された。面積は1900平方メートル。木屑集積機、道具庫、必要量供出機、加工機、木工用鋸、木工用ドリル。

(2) 隊員の業務内容

- 業務上の地位**。インストラクター。3.0年の経験。担当する内容は木工用鋸の修理とメンテナンス、木工用ドリルの修理とメンテナンス、木工用集塵機のメンテナンス。
- 技術の範囲**。1年目は基礎的な木工用鋸の修理とメンテナンス。2年目は木工用集塵機のメンテナンス。3年目は木工用ドリルの修理とメンテナンス。木工用集塵機のメンテナンス。木工用鋸の修理とメンテナンス。木工用ドリルの修理とメンテナンス。木工用集塵機のメンテナンス。
- 業務の形態**。月一回来る。午後6時 (昼食12時-2時) の勤務。教員として指導する。
- 技術者**。木工用集塵機は木工用鋸。木工用鋸の修理とメンテナンス。木工用ドリルの修理とメンテナンス。木工用集塵機のメンテナンス。木工用鋸の修理とメンテナンス。木工用ドリルの修理とメンテナンス。木工用集塵機のメンテナンス。
- 使用の言語**。フランス語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 木工用集塵機の修理とメンテナンス。木工用鋸の修理とメンテナンス。木工用ドリルの修理とメンテナンス。木工用集塵機のメンテナンス。木工用鋸の修理とメンテナンス。木工用ドリルの修理とメンテナンス。木工用集塵機のメンテナンス。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 木工用集塵機の修理とメンテナンス。木工用鋸の修理とメンテナンス。木工用ドリルの修理とメンテナンス。木工用集塵機のメンテナンス。木工用鋸の修理とメンテナンス。木工用ドリルの修理とメンテナンス。木工用集塵機のメンテナンス。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 12 日

211 木 工

調査者氏名 江畑義徳 (江畑)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	CARPENTRY	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	木 工		

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION, ZANZIBAR

(日本語): ザンジバール教育省

ロ. 隊員勤務先名称: NIKUNGUINI TECHNICAL SECONDARY SCHOOL 日本語名称 (シフンブ) 技術専門学校

所在地: P.O. Box 294 主要都市からの距離 (市内より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ザンビアの植民地時代は同国の援助で建設。4年前に技術専門学校に改称。

現在 CARPENTRY, WELDING, PAINTING, MACHINE TOOLS, ELECTRICAL 等の部内があり。4年コースで生徒数は102名。先生は22名いて各コースを受け持っている。

ニ. 設備概要: 1955年に建設されたことあり。校舎も古く。設備・機具とも一応揃って。300坪。290坪あり。

(2) 隊員の業務内容:

(1). 業務上の地位 …… 木工コース教官

(2). 業務の範囲(形態) …… 教室での理論の講義と付属ワークショップでの実技指導が中心となる。講義内容としては、一般家具、さしもの細工、木製模型、木製彫刻等である。

(3). 担任のパート …… 無し

(4). 現地で利用できない機材 …… 木工道具は一通揃っている。

(5). 職場に於ける共同国人 …… 上記22名の先生、35 ティッチャー、1名 (シフンブ) のシフンブ

(6). 使用する言語 …… 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

小規模工業分野の技術が少なく、反面最近の需要に迫る。技術者の育成が急務となっている現状である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験1年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 6月 30日

211 木 工

調査者氏名 奈良輪陸美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) CARPENTRY INSTRUCTOR	(男) / 人	訓練開始 57年4~6月
	(日本語) 木工教官	(女) 人	派遣予定 57年8~10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Office of The Prime Minister
 (日本語): 総 理 行

ロ. 隊員勤務先名称: KITWE DISTRICT COUNCIL/The Youth Vocational Training Center 日本語名称 (Kitwe市役所青年職業訓練所)
 所在地: P.O. Box 22495 Kitwe 主要都市からの距離 (Lilongweより350キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Kitwe市役所には5局(土木保健住宅社会事業・財務・書記)があり、青年職業訓練所は、住宅社会事業局に属し、訓練期間は1年で3月入所。10名の教官(ザンビア人9、西独 volunteer 1)により、5コース(木・農業・電気・板金・自動車整備)が運営されている。

ニ. 設備概要: 木工実習教材・道具は最低限備っているが、対象生徒全員が使用できるほど豊富ではない。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 木工科教官
- ② 技術の範囲: 木工全般(家具・建具・木型・木彫等)に精通し、理論と実習の指導ができる者
- ③ 業務の形態: (イ) 教室と実習室にて実際に次の内容を指導する。
 - a. 木材の選定と工具・道具・機器の使用法
 - b. 家具の製作
 - c. 建具技術と幾何学用道具使用技術
 - d. 木型・木彫と良質製品の選定
 (ロ) 大工技術者となりえる様な授業の計画策定
 - (イ) 卒業後、生徒が現場で自立できる様技術を含む全般的な指導・育成にあたる。
 - (ニ) 生徒の行なう木工製作に対し手助けをする。
 - (ホ) 生徒の現場実習計画の策定と周辺工場へ教材・工具等の援助依頼
 - (ハ) 月次報告書の提出と、随時依頼に応じて評価報告書・推薦報告書・提案書の提出
- ④ 対象者及びカウンターパート: 5コース共25名、計125名収容可能。文部省職業訓練局の定めるカリキュラムに添った訓練がなされている。木工科には2名のザンビア教官がおり、生徒はGrade VII(小学校6年程度)か Form III(中学3年程度)の卒業生で地元の中小企業に就職する。授業料は年間20 Kwacha(5,000円程度)
- ⑤ 現地で利用できる機材: 最低限の機材はあるが看任後業務に応じて適切な機材選定が必要となる

⑥ 言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1974年、市の財政により、小・中学校は出たものの就職口がない青年を対象として、短期間にある程度の技術知識を身につけて、就職のチャンスを与えるという目的で設立された。ザンビアはまだ高度な技術をもった木工技師が少なく、市の財政困窮も相まって staff が育ておらず、所期の目的を達し得ない状況にある。こうした意味からより高度な技術と知識を持った経験者を教官として迎えることに市は大きな期待を寄せており是非 JOCV として要請に応えたい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 高卒あるいは高等職業訓練学校(木工科専攻)修了以上
- ② 実務経験3年以上
- ③ 英語必須
- ④ 単車運転免許
- ⑤ 職業訓練指導員資格取得者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

211 木 工

記入昭和 年 月 日

調査者氏名 大倉保三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) En Muebles de madera	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家具木工	(女) 人 (どちらでも可) / 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Consejo nacional de Rehabilitacion y Educacion especial*
(日本語): 特殊教育リハビリテーション審議会

ロ. 隊員勤務先名称: NARANJO リハビリテーションセンター (日本語名称:)
所在地: NARANJO 主要都市からの距離 () 以上 () 以下

ハ. 事業規模及び内容: 現在 NARANJO 市及び TURRIALBA 市のそれぞれ 150人~200人程度の身障者生産協同組合が組織されている。

ニ. 設備概要: 現在計画中の段階である。TURRIALBA 市は土地を確保。NARANJO 市は TALLER を確保済。6月~7月予定。

(2) 隊員の業務内容:

隊員は Naranjo 市及び Turrialba 市の設備した身障者生産協同組合で身障者に対し家具木工の技術指導をする。

- ① 業務上の地位: INSTRUCTOR.
- ② 技術の範囲: 身体ハンディキャップを有する人に対し市場性のある製品を生産する技術を指導する。
- ③ 業務の形態: 生産工場にて身障者に対し直接指導。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準: 現在カウンターパートは持っている。
- ⑤ 現地で利用できている機材: 現在機材をそろえている。機材については少くない。
- ⑥ 職場に於ける外国人及び雪内家: いない。
- ⑦ 言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: コスタリカ側は身障者に対する雇用対策を遂げる組織を作り BID などの援助を得ている。計画の段階でとらえており隊員には身障者に対する指導と併せて活動計画作りも期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上。身障者に対する指導経験があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月15日

225 冶金

調査者氏名 坂牧嘉昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語) Metallurgy	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冶金	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Nakhon Ratchasima Technical College 日本語名称 (ナコンラチャ技術学校)
所在地: Nakhon Ratchasima. 主要都市からの距離 (110より255キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ナラチャマ(旧名フラート)の中1から2kmの郊外に位置している。
日本の工業高校3年間の外更に2年間のコースが併設されている。
同校の工作機械科240人、溶接科240人。時に板金コースの生徒も対象となる。

ニ. 設備概要: 同校には Full Time Course とは4年 08:00-15:20 までの学舎と
Part-Time Course とは4年 15:20-20:30 までの学舎がある。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 教授スタッフの一員

② 技術の範囲: 熱処理、鍛造、冶金工学、硬度試験機器の操作

③ 業務の形態: 工作機械科、溶接科、板金科の生徒を対象に
冶金について指導。教育法、教育内容の質的向上、
教材の開発、作業手順書、情報資料等の整備も
おこなっている。教壇上では早朝から夜遅くまで
行っている。一週間に30時間程度の授業を行う。

④ 勤務のパート: 鍛造の教師が当面のカウンセラーになる予定。

⑤ 利用する機材: 冶金については特に機械は揃っている。
隊員が到着後、校長と相談し、整備する
必要箇所。硬度試験器等の使用法を学ぶ、設置場所。

⑥ 邦国人の配置: 10年位から15年のオランダ人が1人だが今はいない。
(自動車整備)

⑦ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本校3年に相当する ~~certificate level~~ certificate level は
各学年360人の学生が在籍し、75%は3年2年卒業する。(就労もOK)
残り25%は1年か2年 Diploma level に進む。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件についてO印で囲むこと):

大学の冶金工学を学び、熱処理の実務経験を有する人が望ましい。
鍛造に関する知識もあれば最適。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54 年 10 月 21 日

221 鑄 造

調査者氏名 山崎 昇

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Bulacan College of Arts and Trades*
 (日本語): *ブラカン工芸大学*

2. 隊員勤務先名称: *全 上* 日本語名称 ()
 所在地: *Malabes Bulacan* 主要都市からの距離 (マニラより 36 キロ)

3. 事業規模及び内容: *現状は約40名程度の高校部の学生が鉄, 非鉄金属に関する鑄造に関する職業教育を受けている。細々ではあるが, 手工具類(万力等を含む)生活用品, アクセサリー等を加工している。注) 別添写真参照 ①*

4. 設備概要: *別紙 ①を参照*

(2) 隊員の業務内容: *鑄造科の指導, 具体的には鉄, 非鉄金属類用の溶鉱炉の操作指導, 鉄, 非鉄金属の鑄造指導(理論, 技術), 砂型の作製, 手工具類(万力等を含む)の鑄造指導をインストラクター(現地の先生)に行なう。*

1. 隊員の業務上の地位: *インストラクター*
2. 技術の範囲: *溶鉱炉の操作技術, 鉄, 非鉄金属類の鑄造技術, 砂型, 木型等の鑄造技術*
3. 業務の型態: *インストラクターとして前記の業務を鑄造科及び機械科でのタイアップで行う。*
4. カウンターパートの技術水準及び学歴, 年齢: *鑄造技術及び溶接技術をフィリピン工芸大学で学ぶ。38才 (詳細別紙 ②を参照)*
5. 利用可能な機材: *別紙 ①を参照*
6. 職場におけるフィリピン人及び専門者の配置状況: *なし*
7. 使用する言語: *マカログ語, 英語*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *鑄造技術の指導及び機械科等でのタイアップにより, 学校内外で必要の手工具類, 生活用品等を生産出来る状況を作り出すことにある。*

(新規要請)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専卒程度で機械工学を履修し, 最低2年程度の業務経験及び指導経験があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54 年 11 月 17 日

221 鋳造

調査者氏名 小川 賢

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	MANUFACTURA DE MODELOS	(女) 人	派遣予定 1980 年 8 月
	(日本語) 鋳金 (鋳造)	(どちらでも可) 1 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA **文部省**

1. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL DE EDUCACION MEDIA (DEPTO. EDUC. TECNICA)

(日本語): **中等教育局 技術教育課**

2. 隊員勤務先名称: SERVICIOS TECNICOS (MIN. DE EDUC.) 日本語名称 (**技術普及部門(文部省内)**)

所在地: TECUCIGALPA, D.C. 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 専門技術者育成を目的とした6年制(日本の中・高校に相当)工業学校を管轄におく。この工業学校では一般教養や基礎工学技術を習得させ、大学入学への道を開いている。従来、技能訓練校であったが、昨年2月より、世銀の援助もあり、工業学校に発展し、現在1年生140名、2年生90名を擁す。

ニ. 設備概要: 教室12、講堂、図書館、実習室11(電子、電気、冷凍空調、自動車、工作機械、鋳造、板金、鍛造、溶接、鉄構、配管、木工)として実験室などを有す。

(2) 隊員の業務内容:

上記の工業学校で、鋳造技術教官として、ホンジュラス人教官と協力し、各種実習コースのうち、鋳造実習、鋳造技術、理論を生徒に教える。また、隊員の身分は文部省内技術普及部門付となっており、必要あれば、他の工業学校にも技術教官として巡回指導する場合もある。

① 隊員の業務上の地位 …… 文部省技術普及部門付鋳造技術教官

② 技術の範囲 …… 鋳鉄、ブラス、軽金属による砂型鋳造技術。また、現在のところ設備はないが、理論技術として、ロストワックス法、精密鋳造法、遠心鋳造法、ダイカスト法など各種鋳造法にも詳しいこと。

③ 業務の形態 …… 授業時間 7:30 AM ~ 3:00 PM、1授業単位40分、月~金曜 1クラス30名、座学と実習を交互に行なう。鋳造は各種実習コースのひとつ。

④ 対象者 …… 中・高校生 13才~18才、ホンジュラス人教官とのカリキュラム、指導法の策定。

⑤ 現地で利用できる機材・設備 …… 鋳造実習室には、鋳物砂処理器、電気炉3セット、砂型枠約30セット、熱処理用電気炉、万力、工具類完備。材料試験器、金属組織用顕微鏡、研磨セットも利用できる。

⑥ 専門家、オス国人の配置 …… なし

⑦ 使用言語 …… スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: **新規要請**

ホンジュラス政府は、産業振興、工業レベル向上のため、優秀な技術者の育成に注力している。鋳造技術はまだ初歩的な段階である。文部省でも、機械工作技術の基礎のひとつである鋳造について、今後の技術者の備えるべき技術として重要視している。隊員による日本の進んだ技術・知識の現地移譲に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専卒、或いは大学工学部卒で、機械工学を履修した者、最低3年ほどの実務経験を有すること。指導経験があれば尚良。砂型による鋳造技能が必要。技術面にも明るく、各種鋳造法の理論、実際に精通していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56 年 4 月 10 日

222 鍛 造

調査者氏名 大西 規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
72423	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 57 年 1 月
	鍛造	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Industry Zanzibar*

(日本語): *ザンザバル工業省*

ロ. 隊員勤務先名称: *Jitgemee small scale industries* 日本語名称 (*ジテゲメ小規模工場*)

所在地: *ザンザバル* 主要都市からの距離 (*より* キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *鍛造部はメカニカル部門に併設されており、アルミ、スチール製品(鋳造品)の付属品の加工・製造が主な業務である。同部門は1978年から開始しており、現在3名のテクニシャンがいる。*

ニ. 設備概要: *1トンの大型油圧ハンマーと高温熱処理機などがあり、メカニカル部門には相応の機械が揃っている。*

(2) 隊員の業務内容:

各種機械部品の設計・製造

各種製品の付属品の設計・製造

高温熱処理技術の指導

現地人のテクニシャンに対する技術指導

赴任時の鍛造の専門工具を搬入する必要がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

鍛造部門はジテゲメ工場において最も重要部門の一つであるが、最近導入された新しい技術分野であるので技術者不足が深刻である。

他部門の操業を円滑にするための技術者の養成は急務であり、隊員に寄せる期待も大きいものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 鍛造専門学科卒業生 ○ 実務経験3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年9月4日

240 溶 接

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Welding	(男) 1 人	訓練開始 57年4月
	(日本語) 溶接	(女) 人	派遣予定 57年8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Construction Manpower Development Foundation

(日本語): 建設人材開発協会 Foundation (本部はマニラ)

ロ. 隊員勤務先名称: Construction Manpower Development Foundation (日本語名称)

所在地: 未確定、地方都市のうちどこか1か所 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同 Foundation は工業省下の建設工業特用の下部組織としてつくられたばかりである。同 Foundation は建設(プランニングを含む)関係の熟練労働者育成のため、約25万人を全国各地で5ヶ年計画で訓練する。

ニ. 設備概要: 実際の訓練は全国各地の既存の設備施設を用いて実施する。しかし必要工具・材料等は C.M.D.E が供与する。

(2) 隊員の業務内容: C.M.D.E は建設関連のみの特化して訓練を行う。訓練

は9部門ある。このうち溶接も受け持つ。C.M.D.E の本部はマニラにあるが、隊員が実際に仕事するのは、地方である。現在のところどういふ場所は明確になっていない。しかし既存の設備施設を利用するので、MTC (青少年職業訓練) のような合同に事務所・訓練所を持つ構図でのオフィスが考えられている。

隊員のカウンターパートは同職種の職業訓練教官である。通常の隊員の業務は同職種の ① Training module の作成、② 機器類の操作デモンストラージ、③ 訓練教官の補佐として働き、④ 訓練生(21才〜45才まで)を直接指導する、⑤ 訓練教官に依頼された場合訓練終了後の評価を行なうことである。

1回の訓練期間内は4か月で1982年4〜5月からスタートの予定である。訓練生の数は実際に配属される場所によって異なるが暫くから暫くになる。

技術: 建築構造物に使用するパイプや厚い鉄板等の溶接技術の指導が主。および電気両方の技術が必要である。また自動溶接および半自動溶接方式の溶接両方の技術も知っていることが必要である。また SMAW (Shielded Metal Arc Welding) の技術も要する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンに於いても工業分野での熟練労働者の供給不足は急務の要所である。当国ではこれを達成するため各種職業訓練の充実に力を入れている。このような各職種職業訓練の一つとして、特に建設関係で(しかも青少年は多くは経済的負担を含まない成人の職業訓練を行なおうとしているもので期待は大きいものがある。(ちなみに訓練生には生活補助金が支給される))

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は肉体的に、(実務経験)を有するに必要である。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 15 日

223 溶 接

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Welding	(男) 1 人	訓練開始 1981 年 10 月
	(日本語) 223 溶接	(女) 人	派遣予定 1982 年 1 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): BUREAU OF MANPOWER, EMPLOYMENT AND TRAINING (BUMET)
(日本語): 労働社会福祉者職業訓練局

ロ. 隊員勤務先名称: Technical Train Centre, Chittagong 日本語名称 (4,993) 職業訓練センター
所在地: P.O. Nashirabad, Dist: Chittagong 主要都市からの距離 (ダカより 60 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 2 年制から 6 ヶ月コースに移行した職業訓練センター,
電気, 溶接, 木工, ラジオ TV, 空調等 13 コース, 教官約 50 名

ニ. 設備概要: 国連のプロジェクトとして機材が入っており, 施設も揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 卒業後は溶接工となるべき生徒に対し, 現地人教官と協力して溶接の講義, 実習を担当する。

① 業務上の地位: 校長下の教官, Chief Instructor, Senior Instructor, Instructor の 3 段階の Senior コース。

② 技術の範囲: 現場向きの中堅技術者育成が目的のため, 又 6 ヶ月コース, 材料不足もあり, 高度なものは望めない。(電気・ガス溶接)

③ 業務の形態: 8:50 ~ 14:10 主に実習担当, 週 1 ~ 2 時間理論の授業。

④ 対象者及び入替: 16 ~ 18 才 6 ヶ月毎入替, Secondary School 又は High School 卒, 日本の高 1 ~ 3 卒に相当するが, 学力は日本の中卒程度。

⑤ 現地で利用できる機材: 溶接機 8 台, 内 4 台は英国製トランスフォーマー型。

⑥ 取場における外国人等, ILO 及び UNV, FSL ILO は本年内終了予定。

⑦ 使用する言語, 生徒に対しはベンガル語, 他専門家の場合は英語。

⑧ その他 基本実習は電気溶接では中板突合せ及び隅肉溶接では下向立向, 上向等, ガス溶接では下向ビードの置入, 角溶接及び突合せ溶接, ガス切断等, 応用実習ではテーブル, 棚, 工具箱等の他各種修理。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

1979 年より隊員が TTCI に入り, 現在 6 名の隊員 (2 名計), ILO プロジェクトが年内終了に伴い, JOCTO の責任が増え, 当局も JOCTO の活発には理解を示し, 期待は大きい。2 代目となる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専, 短大卒以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 12 日

223 溶 接

調査者氏名 江畑 義徳 (江畑)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	WELDING	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	溶 接		

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION, ZANZIBAR

(日本語): ザンジバル教育省

ロ. 隊員勤務先名称: MIKUNGUHI TECHNICAL SECONDARY SCHOOL (日本語名称 (シムバ=技術専攻学校))

所在地: P.O. Box 294 主要都市からの距離 (市内より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: イギリスの植民地時代は同国の援助で開設、10年前に技術専攻学校に変更。

現在 CARPENTRY, WELDING, PAINTING, MACHINE TOOLS, ELECTRICAL 等の部門があり、4年コースで生徒数は100名、先生は22名いて各コースを受け持っている。

ニ. 設備概要: 1955年に開校して、ともあり校舎も古く、設備、教具とも一応揃っているが、いまだに少い。

(2) 隊員の業務内容:

(1). 業務上の地位 …… 溶接コース教官

(2). 業務の範囲(形態) …… 教室での理論の講義とワークショップ(付属)での実技指導が中心となる。講義内容としてはガス溶接、電気溶接、特殊溶接の可能な限り、鍛造技術も必要とされる。

(3). オウチレポート …… 着任後決定

(4). 現地で利用可能な機械 …… 溶接器具、鍛造、万力及び手工具は一応揃っているが、古い

(5). 隊員同人 …… デンマク7人、イギリス1名 (この中がシムバ)

(6). 使用する言語 …… 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

小規模工業分野の技術者は少なく、反面最近の需要は迫り、技術者の育成に急務となっており現地である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験10年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

250 塗 装

記入昭和 56 年 9 月 日

調査者氏名 新白 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) SPRAY PAINTER	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 塗 装	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 57年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supplies

(日本語): 工業補給省

ロ. 隊員勤務先名称: Plant & Vehicle Hire Organization 日本語名称 (重機車輛貸借局)

所在地: ヴンツワラ (Body Shop) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 建設機械、及び車輛 (政府機関で使用している車輛) の修理。
各政府機関への車の貸借。 隊の所属する Body Shop に 18 名のスタッフ。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 乗用車 (バン等) の比較的高級塗装の指導と管理が主
な仕事。 マラウイ人従業員との管理。

。業務上の地位: Supervisor (Body Shop の責任者)

。技術の範囲: 塗料はソルカー塗料しかなく やがて肌の赤みやかぶれ等
のより高度な技術を要求される。

。言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 郡昭若隊員の交替。

Body Shop 三代目の隊員となる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 高卒以上。

2. 実務経験 4年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

263 染 色

記入昭和56年4月10日

調査者氏名 大西 規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Dyeing	(女) 人	派遣予定 57 年 1 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Industry Zanzibar*
 (日本語): *ザンザンバル工業省*

ロ. 隊員勤務先名称: *Titegeme Small scale industries* 日本語名称 (ジテメ小規模工場)
 所在地: *ザンザンバル* 主要都市からの距離 (ツズより60キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *繊維製造部門では月産T-シャツ500枚、ベスト700枚がそれぞれ生産されている。現在は染色設備がないので製造は自地のままである。繊維部門の従業員数は57名で、うち1名はインドからの専任家(機械技術者)がいる。*

ニ. 設備概要: *インド製の織物機(13台)、ハンドロ拔染機、光沢機、ボラー、付置機、カツアイワ機(直線、曲線)、ウイザ(又NOS)などの設備、機械が揃っている。*

(2) 隊員の業務内容:

染色技術の導入に伴うレクチュア、

漂白の技術指導、

織断及びデザイン技術指導、

プリント技術の導入と指導

転任時の簡単なプリント用機材を携行する必要が有る。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在T-シャツ、下着などが生産されているが、これが染色、プリントなどの加工ができていないのが現状である。これがために市場性が弱く大きな利益を得ていない。これらの技術を導入し、市場性を高めることが大きな課題であり、これによって更に生産量を増やすことを期待しており、隊員に寄せる期待も非常に大きいものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 染色及びデザインの専門学科卒業生 ○ 実務経験3年以上

織物の全工程について熟知している者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

240 印 刷

記入昭和 55年 3月 20日

在米邦人調査員

調査者氏名 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) IMPRESA Y ENCIADERNACION (日本語) 印刷・製本	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 81年 2月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL		国立職業技術庁	
イ. 配属先名称 (現地公用語): CENTRO MIRAFLORES			
(日本語): 職業技術訓練センター			
ロ. 隊員勤務先名称:		日本語名称 (職業技術訓練センター)	
所在地: TEGUCIGALPA, D.C.		主要都市からの距離 (より キロ)	
ハ. 事業規模及び内容: 国立職業技術庁(INFOP)は国家開発計画に基づき産業振興の基礎となる人材の育成(技術・技能者養成)を目的として設立され、1979年より本格的な活動が開始された。 テグシガルパに INFOP 本部があり 国内5か所には技術訓練センターを有する。			
ニ. 設備概要: 職業技術訓練部門は Tegucigalpa, San Pedro Sula の2か所にはセンターがあり、教育指導が行われている。設備は国内企業からの拠出金、国連、西ドイツの援助により約8割は整備されている。			
(2) 隊員の業務内容:			
隊員はテグシガルパ 職業技術訓練センターに配属され、青年(15才~18才)の生徒、INFOP 職員、国内企業(印刷製本)の従業員に対し印刷(オフセット中心)、製本についての講座(理論・実習)を行なうもので、必要に応じて印刷物製本物の巡回指導、講習会も実施する。文化、教育の向上、普及には印刷、製本技術は不可欠なものであるがホンデュラスには専門技術教育を受けたものがおらず、地場産業育成のためにも技術者養成が政府の重要な目標となっている。INFOPは一般民衆のための技術教育機関で中心にしている青年部門は、小学校卒業者が入学試験を受ければ入るシステムになっている。(1クラス15人編成、3年制)			
① 隊員の業務上の地位 = 職業技術訓練センター教師、指導員			
② 技術の範囲 = 指導対象者が小学校卒の一般民衆と国内企業の従業員が中心であるところから高度な技術は必要とないが実務経験が最低3年は必要と言え。印刷(オフセット)、製本の知識、技術経験に加え他の印刷技術、写真の基礎技術、編集技術も指導上不可欠である。教材書、教材の作成授業計画(年間、講習会)も現地事情に合わせ立案、実施する。			
③ 業務の形態 = 訓練センターの時間割、午前7:00~午後3:00(青年部門)、午後6:00~8:30(実業者再教育)			
④ 対象者 = INFOP 生徒、職員、国内企業従業員			
⑤ 現地で利用できる機材 = 指導、実習に必要な機材は8割程度整っているが教材書、マニュアル類が乏しい。基礎指導書と携行の上、米帰後隊員自身が研究し、現地に合わせた指導法を考案する。			
⑥ 専門家の配置、西ドイツ専門家(印刷、製本部門にはなし) ⑦ 使用言語、スペイン語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
国家開発計画において教育、技術の向上と地方普及は最大の課題であり目標である。印刷、製本部門には現在まで技術者が育っておらず、技術普及、教材作成、現地側技術者育成と、技術教育、指導法に優れている日本の青年に対する期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
高専卒以上、実務経験3年以上は絶対条件。印刷、製本技術の他、写真、編集に関する基礎知識及び経験を有すること。職業訓練指導員資格があればなおよい。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

ホンジュラス

25001 プラスチック成形

記入昭和56年1月9日

調査者氏名 田安 永治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンジュラス	(現地公用語) Industria Plástica	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) プラスチック成形	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Instituto Nacional de Formación Profesional (INFOP)
(日本語): 国立職業技術育

ロ. 隊員勤務先名称: Centro Fijo No. 2 日本語名称 (サンペドロスラ訓練所)
所在地: San Pedro Sula 主要都市からの距離 (首都より270キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 首都テグシガルパに次ぐ規模の訓練所と職員約100名から成る。同訓練所にはプラスチック科の他、自動車、機械、溶接、木工、配管、製靴、羊織、ラジオテレビ修理、印刷、電気、の各科がありその他、農業、経理関係の講座も設けられており、初級から中級程度の訓練を実施している。

ニ. 設備概要: 各科共、相当の設備機材を所有している。プラスチック科は工場(10m×10m程度)の他、基礎工具、実習教育用機材(射出、押出圧縮etc)を購入しているが現在その金では足りていない。

(2) 隊員の業務内容: INFOPでは教育訓練コースが①15~18才未経験者の技能教育(2年)②一般成年の未経験者の技能教育(6か月程度)③該当職種の新入者技能再教育(1~2年)に3区分されている。プラスチック科では現在③についての講座を実施しているが将来は③について行なう予定。尚講座は各成形(射出、押出、圧縮etc)ごとに分けておいて③のコースは成形ごとに講座が分れる。

①業務上の地位: 対外的には技術顧問。実際は教室として授業を担当。

②技術の範囲: 押出成形の成形技術、機械の保守点検を中心に射出成形、金型についての一般基礎知識、技能。

③業務形態: 担当教室として授業、実習を担当。その他各社からの相談に対し助言、指導をする。授業は普通夜間になり、実習は設備機材が教育用のため充分でなく、昼間、各工場を回って直接指導をする。また教科書の作成が義務づけられているため、当初はそれらが大きな仕事の一つとなる。

④技術水準: カウンターパートはINFOP機械科教員と同等の中程度。但しプラスチックに関しては全く知らない。受講生は大半が小中学校卒で特に計算・算数、専門技能については習得しているため、自らの仕事以外は基本的な事項でもお判り知らない。年齢は18~35才位。

⑤利用される機材: プラスチック科にある機材の他、申請すれば他科のものも使用可能。ほとんどのものはそろっている。

⑥外国専門家: なし ⑦使用言語: ス페인語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同科は新しい業分野の一つとして現在サンペドロスラに7~8社、テグシガルパに6~7社、成形加工会社があるが規模は専ら外資系を除き小さい。射出、押出成形を主にその他圧縮、ブローの各成形が採用されているが、設備は射出、押出成形で日産数百個、PVC、PE、PP、PS、PA、PE等を生産。各社共技術者がいないため種々の問題処理の指導、情報提供、現場作業者の再教育を望んでおり、その対象層は大きくはないが現地の工業分野の金の指導をおこなうことになり、また各社からの期待も大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): プラスチック成形一般についての実用的基礎知識、技能が必要 ①学歴: 高卒以上 ②資格: プラスチック技能検定2級があれば尚良い。 ③実務経験: 押出成形部門で2~3年。金型工作加工経験があれば尚良い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 2月 25日

311 工作機械

調査者氏名 **新保昭治**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Machine Tools	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 工作機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限57年 1月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower and Youth Council (N M Y C)
(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development
日本語名称 (国立中央職業訓練校)
所在地: Fort Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (Manila より 5キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

フィリピン国 労働者の管轄で out of school youth, 地方訓練校の教官
大学生を対象とした職業訓練指導を行っている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1) 隊員の業務上の地位: 機械科教官のアドバイザー

2) 技術の範囲:

3) 業務の形態: インストラクターと協力しての職業訓練教育全般
手仕上げとフライス盤 しくはその他工事も業務 1名が機械科
全体のカリキュラム編成

4) 対象者及びカウンターパート:

訓練生は Out of school youth が主体で一般に基礎学力が
不足している。カウンターパートは大学生で一般の加工は出来
るが理論的には劣る者である。

5) 現地の利用出来る設備:

6) 母国: 1979年までオランダのボランタリーが居るが現在は少ない。

7) 使用の言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 佐藤久夫隊員(54/4)の交待要請

現在4つのコースを開設しているがセッティングが
進むにつれて機械科全体の授業計画とか授業内容の構築が必
レベルアップが必要になって来ている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学は高等職業訓練校等で卒業後 職業訓練指導に従事した経験
がある事。出来ればカリキュラム編成が可能な人を望む
現地到着時 25才以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

新保昭治

311 工作機械

記入昭和 55年 2月 日

調査者氏名 伊藤 衛佐

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Machine Tools	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 工作機械(精密加工)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可) 人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower Youth Council (N.M.Y.C.)

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development 日本語名称 (国立中央職業訓練校)

所在地: Fort Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (マニラより 5 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要: 別紙参照

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 機械科の教官及びアドバイザー

② 技術の範囲: 現場技術のみならず広範囲な技術
(精密加工についての知識があり、工具研削盤、平面研削盤、円筒研削盤、フライス盤、旋盤、E.D.M.等が扱えることよ.)

③ 業務の形態: 訓練の開発

(当訓練所は地方センターのパイロットセンター的役割りをしていること)
Out of School Youth に適した訓練を当センターで開発して地方センターへそのノウハウを波及することは意味のあることと考える。

④ カウンターパートの技術的水準: 技術系大学卒、一般企業で働いた経験あり
技能水準は地方センターのインストラクターに比較すると高い、数学等に弱いと言葉としては豊富な知識をもつ、ただそれが正しく理解されているか、実際に役立つ技術となっているかは疑問である。

⑤ 職場における第3国人等: いなし

⑥ 現地で利用できる機材: 別紙参照

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

Out of School Youth に対する効果的訓練の開発、人的・物的両面にわたる訓練環境の整備

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験が最低3年以上の人を望む。

日本の職業訓練所、工業高校、企業内訓練所等での指導経験があるとよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

311 工作機械

記入昭和 55 年 7 月 2 日

調査者氏名 真野 志江

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Mechanical Engineering	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 工作機械	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Teknik 日本語名称 (普通工業高校)
所在地: Johor Bharu 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 中学卒業者を対象とした 2 年課程の工業高校

ニ. 設備概要: 旋盤 16 台, 形削盤 2 台, 立 275mm・横 75mm 各 1 台, 金切りのこ 2 台,
ボール盤 2 台, グライダ 6 台, Drill stand 1 台, P-7 溶接 2 台.

(2) 隊員の業務内容:

中学卒業程度の生徒に機械工作, 加工, 溶接, 切断, 板金工作の
実習指導に協力する.

生徒は職業訓練高校の生徒と違い, 成績の良いものが来ず, 日本
の工業高校にあらず, 1952 20%~30%の生徒数

教師は技術教員養成大学卒業で企業での実務経験がある.

校舎のマレー語で行われる

特に構行に必要とする教材は.

以前比嘉清順 (2 年 4 月) 隊員が活動していたことがある

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は実務経験が乏しく知識は専門書のみ依存に
いる. 実務経験豊かな隊員から進んで技術を受けると共に 校風
確立のため日本人の勤勉な姿勢を学ぶこととしている.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大卒業以上.

実務経験 2~3 年以上.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年9月11日

311 工作機械

調査者氏名 吉満博

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Machinework Practice (Drilling & lathe)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 工作機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
1. 配属先名称 (現地公用語): Technical Secondary School , (日本語): 工部省			
ロ. 隊員勤務先名称: Technical Secondary School		日本語名称 (工業高等学校)	
所在地: Kuala Lumpur (Cheras)		主要都市からの距離 (より キロ)	
ハ. 事業規模及び内容: 日本の工業高等学校に相当する学校で全国に9校ある中の1校であり, Form 4 -- 8732 320人 Form 5 -- 8732 320人 Form 6 4732 200人の生徒がいる。教師数 42名			
ニ. 設備概要: 年作業及び機械作業の二つの実習場があり、機械作業室には旋盤、フライス盤、型削り盤の設備が設置されている。			
(2) 隊員の業務内容:			
機械科において年作業及び機械工作の実技指導を中心に、工作機械に関する基本的な理論について授業を行おう。			
現在は fitting を中心とした授業が行われていたが、校長は machine 合作について教えてくれることを期待している。また政府から出される実技試験のための訓練指導を充実に、合格率を高めることを望んでいる。			
実技指導の詳細			
年作業はヤスリを使用しての課題製作の指導、機械作業は旋盤を中心にフライス盤、型削り盤を使用しての課題製作の指導を行おう。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
日本人の勤労精神、規律、創造性等、格好以外の人格的側面での指導も求められている。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 年作業及び工作機械全般の基本技能の訓練指導可能者、工作機械の保守及修理の格好を有する者(経験者) 軽格好に富み、生徒、教師をリードしている者			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56 年 4 月 10 日

311 工作機械

調査者氏名 大西 規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 57 年 1 月
	機械技師	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Industry Bangkok

(日本語): サブシバル工業局

2. 隊員勤務先名称: Jitagemel small scale industries 日本語名称 (ジテゲメ小規模工場)

所在地: サブシバル 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 機械部門は1976年に開設され、ジテゲメ工場内の各種機械の部品を製造して、13か所が管内で使用する船舶、建設機械などの部品を製造している。現在8名のテクニシャンがあり、うち1名は日本人専門家(メカカルエンジニア)がいる。

4. 設備概要: 機械設備は金型2台、鍛冶旋盤、220V-3相モーター、220V-3相コンプレッサー、電気溶接機、パワーツェンダー、銅糸ドリルなどが揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

各種機械部品の設計・製造

現地人のテクニシャンに対する技術指導

機械部品は精度と強度が要求されるが、熟練者がいないため、各部門からの要望に応えるための実務であり、特定のノウハウを保持するのはなく、全般的な技術指導が主務である。

赴任時の工作機械の穿削工具を携行する必要はある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

メカカル部門はジテゲメ工場の生命線であり、不可欠な部門である。特に当国のような海外市場の要請には自国での供給策が乏しい。

しかし、現地人技術者の技術水準が低いため、工場内の要望に応えるための実務が隊員の要請となったためであるが、当国の期待度も非常に高い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 機械専門学科卒業者 ○ 実務経験3年以上 機械熟練可能者

工作機械全般について使用可能者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

311 工作機械

記入昭和 56年 9月 5日

調査者氏名 茂木昭次

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Honduras (ホンデュラス)	(現地公用語) Mecanica Industrial. (日本語) 工業機械	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministerio de Educación 文部省			
1. 配属先名称 (現地公用語): Centro Tecnico Hondureño Aleman (日本語): ホンデュラス技術学校			
2. 隊員勤務先名称: Centro Tecnico Hondureño Aleman 日本語名称 (ホンデュラスドイツ技術学校) 所在地: サンペドロ・スーラ市 主要都市からの距離 (より キロ)			
3. 事業規模及び内容: この学校は日本の工業高等学校に相当する優秀な技術学校で 電気科をはじめ自動車整備科, 機械科, 溶接科等あり/中の長い学校 であります。			
4. 設備概要: 機械科には旋盤 + 数台 ボール盤 数台 フライス盤 等 実習を行なう上では問題はありません。			
(2) 隊員の業務内容:			
この技術学校での隊員の仕事は機械科の教官への技術指導ほも53人の 他 授業カリキュラムの編成又は校正 生徒への直接指導も行ないます。			
① 隊員の業務上の地位: ホンデュラスドイツ技術学校 教官 (機械科) 又問題があれば直接校長と話し合える。			
② 技術の範囲: 直接現場型より指導経験があれば尚好ましい。			
③ 業務形態: 製図工作, 技術指導, 授業カリキュラムの編成 校正			
④ 対象者及びカテゴリー: 直接対象者と存するのは機械科教官にあり ます。その中からカテゴリーとして ホンデュラス人教官 (1名) と相互協働 するのが望ましい。			
⑤ 現場のオーストリア人及び日本専門家: 今現在はおらず 設立当時ドイツ の援助による技術学校であったためドイツ人がありましたが 二・三年前は この技術学校に入ってありません。			
⑥ 使用する言語 スペイン語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
ホンデュラス政府の育成教育にかけると期待は大きく日本の 教育システムとして技術を学びたいと強く求めら れてくる。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
① 機械工作に関する実務経験 4~5年			
② ある技術セクター等での指導経験があれば尚望ましい。			
③ 年齢 25才以上			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 2日

312 冷凍機器

調査者氏名 新作昭三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): *Southern Philippines Development Administration*
(日本語): 南部フィリピン開発機関
- ロ. 隊員勤務先名称: *Mindwa Refrigeration Industries* 日本語名称 (*Mindwa 製氷工場*)
所在地: *Zamboanga city* 主要都市からの距離 (—より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

製氷能力 40ト/日のプラントと 300ト用の冷凍庫があり従業員約 20人 (臨時雇含む)

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 南部フィリピン開発機関に属する製氷部内のPTバスター
- ② 技術の範囲: 製氷プラントに対する設計能力が必要
- ③ 業務の形態: 技術者に対する技術指導
- ④ 対象者及びその数: 全工場の技術水準向上及び年令: 対象者の工場、技術者があるが工場内の生徒も対象に若干あり、技術水準は低い。
- ⑤ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ミンダナオ州の開発は、国の発展能力の一つであり、地味住民の経済向上が目標である。特に流通機構の不整備があり、機材を更に厚くには必要であり、その需要は多い。従って工場、施設の増設は当面の緊急課題であり、技術の進歩を日本に期待するに大いである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年9月12日

312 冷凍機器

調査者氏名 御園 由道子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Penyeamanan Udara dan penyejukan	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冷凍空調	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Kementrian Pelajaran

(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokasional 日本語名称 (職業訓練学校)

所在地: Jalan Sungai Abang Muar, Johor 主要都市からの距離 (47より5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 教師数: 約 50名

生徒数: 男子 500名 女子 100名 (約80%が寮生)

家政科, 電気科, 木工(レノガ)科, 栽培科, 工作機械科,

ニ. 設備概要:

自動車科, ラジオTV科, 冷凍空調科で構成されている

(2) 隊員の業務内容:

○この科の生徒は一週間に理論 12時間, 実習 19時間, 製図 4時間, アカデミック 16時間と, 合計 51時間 (1時間 40分授業) の授業を受けている。S.O.C.Vの隊員に配属された場合は, 上記のうちの実習のクラスを担当する事になる。

隊員は現地職員と同等の立場で扱われるが, 実習時間には一つのクラスに二人の教師が入る事になっているので, 一人一つのクラスを兼せられると中心業務に配属可能。

授業はマレーシア語で行われる。

○この科に在籍する5名の教師は22才-30才, 全員教師養成大学(三年制)を卒業しているが, 学校以外への実務経験はない。

○現地下利用出来る機材: walk in cooler

大きさ 2m x 3m x 3.6m

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現地職員は下記に併列記した日本からの新しいアドバイス, アイディアを求めている。

① Duct Design

② Heat Load calculation

③ Motor control

④ Piping Design

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴: 大学卒

取得資格: 特にTV

実務経験: 3-5年

年齢: 25才以上

性格: 明朗快活

隊員の技術水準: 一つのメーカーの冷凍機器に特く詳しいとゆうのでは

なく, どのメーカーの機器も一応二台せるとゆう人を望んでいる

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 17日

312 冷凍機器

調査者氏名 藤巻洋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Refrigeration Engineering	(男) 1人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 冷凍機器	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Fisheries
(日本語): 漁業者

2. 隊員勤務先名称: Institute of Fish Technology 日本語名称 (漁業技術研究所)
所在地: クロ-アイランドコロム 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: ① 現在利用されている漁の利用法の確立
② 湖沼と利用しての淡水漁の養殖, ③ 海水漁の養殖,
④ 流通体制の確立

4. 設備概要: 漁獲物の保存, 水産加工についての設備は一通り揃っている

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: 冷凍機器の保守管理に当たる技師。
2. 技術の範囲: 冷凍倉庫及び製氷機についての保守管理及び部品の確保と行うための資料作成。
3. 業務の形態: 漁業者の冷凍倉庫は、コロム(250t), ゴール(2500t), ハルワラ(250t), バンライカワ(100t) に設置されている。更に製氷施設が アヌラダポラ, タンゴール, ハンバント-タ, 等に設置されている。隊員はコロムを基地に1.各地を巡回して保守管理及び現地人スタッフの指導にあたる。
4. カンターパート等: 各冷凍倉庫には保守管理にあたるべき技師がいるので、その人がカンターパートとなる。
5. 機材等: 修理等に必要なお金は一通り揃っているが、完全とは言えない。
6. 才力国人等: FAO 専任家として、江藤誠一氏(水産加工)が勤務中。
7. 使用する言語: 英語及びシンハラ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 漁獲物は販売又は加工されるまで冷凍倉庫に保存されているが、現地人技師の技術は充分とは言えず、保守管理を充分に行っていない。よって定期的な点検整備が不十分であり、故障するおそれ使用するので現状である。隊員にはこれらの問題解決のため、定期的な点検の確立、故障の修理、部品の確保等の業務が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
配属先における現地スタッフの現状から見て大卒が望ましいが不可能な場合は、工専卒で経験3年以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 8月 24日

312 冷凍機器

調査者氏名 平沢昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Refrigeration & Air-conditioning Engineering	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冷凍空調	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment
(日本語): 青年雇用省
- ロ. 隊員勤務先名称: National Apprenticeship Board 日本語名称 ()
所在地: 4 & 6, Dharmarama Road, Colombo-6 主要都市からの距離 (より #ロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 年予算 4100万ルピー。1971年に設立された政令により翌72年に設立され、青年一般企業における on-the-job training (4年間) に派遣した後、工事を修了したものは技術修得を証する修了証を発行し就職に糸口を作っている。
- ニ. 設備概要: Boardの事務所は建物なし。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: Inspector
2. 技術上の範囲: 家庭用冷凍冷蔵庫やエアコンの修理等から使われる空調システム、大型冷蔵庫の理論と、保守・修理の実際経験が求められる。
3. 業務の形態: 当該分野の工員に対するための養成コースで、4年のうち6か月を Technical College での基礎訓練にあて、残り期間を私企業の工場に訓練を依頼して行なっている。隊員はこれらの訓練のやりかたを十分に理解しているか否か、又、訓練生が目的の技術を身につけているか否かをチェックする。
4. カウンターパート等: 特定できる人物はいないが、いざという時に Inspector は大学工学部卒業後業務経験 3年程度を有しているが、2年間の研修で短大コースを終了し、8年程度の経験も有するものが半数は25~30才くらい。
5. 現地で利用可能な機材: 特になし
6. 母国の人等: いなし。
7. 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

スリランカでは工場等の修理に働ける工員が不足しており、この工員は、特にどういふ仕事にこの実践技術自身を身につけてほしいと設置された。現在進められている自由貿易協定地域が生まれ上ると、多くの企業が進出してくるものと見込まれ、これへの人材育成の点にも NAB の活動が重視されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○専攻 業務経験 5年以上 単車免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 9 月 日

312 冷凍機器

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	MECHANICAL ENGINEER	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 冷凍機器	(どちらでも可) 7人	受入期限 57年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supplies
(日本語): 工業補給省

ロ. 隊員勤務先名称: Plants & Vehicle Hire Organization 日本語名称 (重機車輛貸貸局)
所在地: Mechanical Service 1024 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

同国 Central Region の政府関係の建物、施設の冷凍空調 (主に) 設備の保守サービスを行う。

ニ. 設備概要: 約 50m² の Workshop と Office. サービスカー 3台. 工具. 専用機器.

(2) 隊員の業務内容: Lilongwe を中心として東西南北約 100km の範囲で、病院、政府関係施設等の冷凍空調設備の保守サービスで各部所毎月 1 回の定期点検、故障修理、設備完成検査等のユルもある。15月 35 半分以上は出張に当る。Workshop では現地と修理不能な冷蔵庫、クーラー、アイスメーカー等の修理を行う。

・業務上の地位: Supervisor

・技術の範囲: 日本で冷凍空調の経験は少ない。小型家庭用冷蔵庫を含む。

・キャリア: すべて冷凍空調 ~~技術~~ 技術学校卒 (現在は在学中)。2E とおりの技術は持っている。経験 5~6 年。年齢平均 30 才。

・採用人: Mechanical Service の Head は英国人。

・言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 歳内 裕二 隊員の交代。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 要内学校卒以上。

2. 実務経験 3 年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54年 9月 10日

312 冷凍機器

調査者氏名 田中研一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語) ACONDICIONADO REFRIGERACION Y AIRE	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冷凍空調	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 1980 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL 国立職業技術庁

イ. 配属先名称 (現地公用語): "CENTRO SAN PEDRO SULA"

(日本語): サンペドロ・スーラ 職業技術センター

ロ. 隊員勤務先名称: "CENTRO SAN PEDRO SULA" 日本語名称 (サンペドロ・スーラ 職業技術センター)

所在地: SAN PEDRO SULA 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サンペドロ職業技術センターは、十二学科を有する同国有数の職業教育施設である。生徒数約300名、教官数約50名である。冷凍空調科は、生徒数約30名、教官数3名。

ニ. 設備概要: 一元の教育用設備、工具類が備えられているが、十分ではない。

(2) 隊員の業務内容:

国立職業技術庁長官から「協力隊員は、単なる協力アシスタントとしてではなく、教官の一員として研修を受け、同時に、同量の仕事をしたい。」と述べられている。ホンジュラス人教官とほとんど変わらない内容の職種及び地位が与えられている。着任後2ヶ月間の教育研修(①教育原理 ②指導法 ③指導実技 ④評価)をホンジュラス人新採用教官に混りて受講のうえ、その授業を担当させられるシステムが採られている。現在、午前7時から午後4時まで授業が行われているが、将来は夜9時迄の夜間講座も開かれる予定。

- ① 隊員の業務上の地位: サンペドロ・スーラ職業技術センター 教官
- ② 技術の範囲: 日本の職業訓練校の冷凍空調科レベル
- ③ 業務形態: 日本の職業訓練校教官と同様、同等の仕事
- ④ 対象者及びカリキュラム: プリンチサハと併行する初級コース(18才前後)を指導する。ホンジュラス人教官は優秀であり、互いの協力が不可欠。カリキュラムの人材は心配なし。
- ⑤ 原設備: 空調モデルや必要工具が導入されているが、不足の部分もある。
- ⑥ 職場の才3国人及び日本専門家: 直接冷凍空調科には関係ないが、ドイツ人技師が数名。
- ⑦ 使用言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新想要請。

市場の冷凍施設は、ほとんど見られず、生活水準の向上により、この機器の需要は増大の傾向にあり、その修理技術は強く求められている。INFOPの各センターとも、毎年生徒数を増加していく方針のため、教官の絶対数が足りず、協力隊員にける期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 専門学校卒業以上、実務経験4~5年
- ② 年齢は25才以上 (これはホンジュラス人教官とのバランスから)
- ③ 職業訓練指導の経験があればなおよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 D

記入昭和 53年 10月 1日

312 冷凍機器

調査者氏名 小野 昭一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
トンガ王国	(現地公用語) Refrigeration Engineering	(男) 1人	訓練開始 54年 4月
	(日本語) 冷凍機技師	(女) 人	派遣予定 54年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月 日に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Forestry & Fisheries
(日本語): 農林漁業省

2. 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称 (水産局)
所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 船舶用、70Lタイプ 冷凍庫を中心とした製氷機等
等合計、約14台の修理保守を主として行うこと。特に在り冷凍
庫(船舶)の修理、特にトコリカ、7Lタイプに特化した修理等
4. 設備概要: 以上。船舶用、エドワーズ 二段圧縮冷凍装置 2台、
20Lタイプ 70L冷凍庫 2台、5Lタイプ 70L冷凍庫 1台、カキカネ 70L冷凍

(2) 隊員の業務内容: 冷凍庫 1台、修理、日本製、三菱製、前川製作所等
20Lタイプ 70Lタイプ、70Lタイプ冷凍庫 1台、20Lタイプ 70Lタイプ
70Lタイプ 製氷機 1台、70Lタイプ 製氷機 1台、農林局、70Lタイプ 小型手動
式 4台、小型冷凍庫 2台、製氷機 1台、パハハ島 2-4-1-70Lタイプ
冷凍庫 2台。

1. 隊員の業務上の地位: インストラクター
2. 技術上の範囲: 船舶用冷凍機から冷凍庫(小型)の保守管理
3. 業務上の形態: 現場指導型
4. 対象者及びその状況: 100%の技術水準、学歴及び年齢に現在セパ
100%の、在り部隊に在り、船の場合に機内長を船の船舶工
シニア 全員と一組に作業。高年 20才~43才(機内長)
5. 現地で利用可能な機械: 小型真空ポンプ 79台、カス探知機(70L)
3台、コト100Lタイプ 2台、農林局一式
6. 職場に在り居る日本人及びその所属家の配置状況
隊長(英人)他2名英人、日本人2名、隊員3名
7. 使用すべき言語: 英語、トンガ語

(3) 受入希望の背景と受入後の期待:
冷凍機のスムーズな進行が期待され、コミュニティの
教育に必要とされる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
特に、年齢が重視され、現地の女子校を以て、修理
が可能な人材が望まれる。
又、高年が関係ある、トコリカ工業系の学校出身者が望ま
れる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 6日

312 冷凍機器

調査者氏名 吉村正秀

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ソルモ 諸島	(現地公用語) REFRIGERATION MECHANIC	(男) 1人	訓練開始 56年 10月
	(日本語) 冷凍機器	(女) 人	派遣予定 59年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): DEPARTMENT OF FISHERIES, MINISTRY OF NATURAL RESOURCES
(日本語): 天然資源省 水産局
2. 隊員勤務先名称: FISHERIES DIVISION, WESTERN PROVINCE 日本語名称 (西プロ) 水産局
所在地: GIZO, P.O. BOX 11, GIZO TEL: GIZO-07 主要都市からの距離 (中心より 0キロ)
3. 事業規模及び内容:

事務所 1 WORKSHOP 2 新事務所と教室を建築の計画あり

4. 設備概要: REFRIGERATOR 2 (COMPRESSOR ~~with~~ BEE BELT DRIVE) ^{1台}
ICE MAKER 6 (速いタイプ)

(2) 隊員の業務内容:

WORKSHOP 2 交換を指導する。近く建築予定の教室で
理論の指導も当てる。FISHERIES DIVISION には 9名のスタッフが
いるが GIZO には 5名 冷凍機器の技術者はいない。
漁具の修理からレポートまで技術の育成を計る。
他のボランティアは少ない。

DIVISIONの長は Mr. EGINTON (オーストラリア人) 以前
SOUTH PACIFIC COMMISSIONARE 2年間の好人物であり、
冷凍機器の技術者がいないため、期待おこせるところが大
業務は当然交換が主伴となり指導度である。

勤務時間は 8時 ~ 4時 30分 (月 - 金)

公用語は英語。ビジの知識も要するが現地到着後
習得すれば可い。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

WESTERN PROVINCE は、ソルモ諸島 7州の中で最も資源に
恵まれ、実はソルモ諸島全漁獲量の 60% 木材 90% の 30% を
占めている。昨年ギゾで FISHERIES COMMITTEE MEETING があり、中央政府
から Mr. STONE も出席し、その際 JOLV の受入を決意した。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は特に拘りない。○交換の志願が豊富であること。
交換の志願が小さいと交換年数は不同

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 4日

320 (電 気 機 器
注として強電)

調査者氏名 新保 昭 治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
フィリピン	(現地公用語) Industrial Instrumentation	(男) 1 人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 電気機器(自動制御)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57年 8月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Construction Manpower Development Foundation

(日本語): 建設人材開発協会 (本部はマニラ)

2. 隊員勤務先名称: Construction Manpower Development (日本語名称)

所在地: 未確定、地方都市のうちどこか1か所 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 同 Foundation は、工業省下の建設工業採用の下部組織としてつくられたばかりである。同 Foundation は建設(フロンティア)関係の熟練労働者育成のため、約25万人を全国各地で57年計画で訓練する。

4. 設備概要: 実際の訓練は全国各地の既存の設備施設を用いて実施する。しかし必要な工具・材料等は C.M.D.F が供与する。

(2) 隊員の業務内容: C.M.D.F は建設関連のみに特化して訓練を行う。訓練

は9部内ある。このうち電気(自動制御)等々持つ。C.M.D.Fの本部はマニラにあるが、隊員が実際に仕事をするのは地方である。現存のどこどこというように場所は明確にはっていない。しかし既存の設備施設を利用するので、NYC(青少年職業訓練)のような全国に事務所・訓練所を持つ構図とのライプツヒヒが考えられている。

隊員のキャリアーパートは同職種の職業訓練教官である。通常の隊員の業務は同職種の① Training module の作成、② 機器等の操作デモンストラーション、③ 訓練教官の補佐として働く、④ 訓練生(21才〜45才まで)を直接指導する、⑤ 訓練教官に代わり、場合訓練終了後の評価を行うなどである。

1回の訓練期間中は4か月で1982年4〜5月からスタートの予定である。訓練生の数は実際に開設される場所によって異なるが数十から数百になる。

技術: 工業フロンティア・工場等の自動制御の設置技術指導を行う。したがって電気を中心に、電子、気体力学、水力学、油圧等についての知識も要求される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンに於いても工業分野での熟練労働者の供給は急務の事柄である。当国ではこれを達成するため各種職業訓練の充実に力を入れている。このような各職業訓練の一つとして、特に建設関係で(しかも青少年)は広く若年層を含めた成人の職業訓練を行おうとしているもので期待は大きいものがある。(ちなみに訓練生には奨学金補助費が支給される)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は同レベルだが、(実務経験)を有するにこれが必須条件である。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 8 月 24 日

321 電気機器

調査者氏名 平沢 昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment
 (日本語): 青年雇用省

ロ. 隊員勤務先名称: National Apprenticeship Board 日本語名称 ()
 所在地: 4 & 6, Dharmarama Road, Colombo (主要都市からの距離 (20km以内))

ハ. 事業規模及び内容: 予算 4100万ルピー。1971年に出来た法令により翌72年に設立され、青年と一般企業における on-the-job training (4年間) 派遣以後 2人ほど修了したものには技術修得を証する修了証を発行し就職に結びつけている。

ニ. 設備概要: Board の事務所は建物で。

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: Inspector

2. 技術の範囲: 大小モーター、発電機等を中心とする電気機器類の修理。特に巻線の巻替。日本では部品の不足を替えることが出来ず修理も部品を修理で技術が必要になる。

3. 業務の形態: 現在おおよそ100人の青年がコロンボ周辺の10~15の一般企業の工場に配置され電気関係の技術訓練を受けているが、隊員はこれらの現場を巡回し、訓練が適正に行なわれているかどうかを4~7ヶ月に1回訓練カリキュラムも検討する。

4. カウンタート等: 特定できる人物は「ない」。NABに事とする Inspector は大学工学部卒業後経験3年程度、年齢25~30才

5. 現地で利用できる機材: 特になし。

6. 他国籍人等: 「なし」

7. 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: スリランカでは、いゆる理論は知っているも技術面には人材が乏しく、この青年達に実際現場で役に立つ技術を身につけてもらうこと。NAB もこの目的のために設立されたもの。今、自由貿易地帯に誘致が進められている諸企業への卒業生の就職を担っている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(大学工学部 電気工学科 卒業 経験3年以上) また 工学卒 経験5年以上、
 単車免許

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年4月22日

321 電気機器

調査者氏名 石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
ケニア	(現地公用語) Electric Instruments	(男) / 人	訓練開始	年 月
	(日本語) 電気機器	(女) 人	派遣予定	年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education
(日本語): 高等教育省

2. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of Agriculture & Technology
日本語名称 (注: ケニアの農工大学)
所在地: 主要都市からの距離 (首都より35キロ)

3. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力(約48億円)及び技術協力に基づき新設される四年制大学 農学部3学科(園芸・農業工学・食品加工)、工学部3学科(機械工学・土木建築・電気)、学生数720名、教職員120名
4. 設備概要: 建物は内部設備・教職・機材共規模を同じくする我国の大学と同じ水準のものを整備している。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 大学教員 工学部電気工学科
- ② 電・変電工学に関する基礎的理論及び実習指導
- ③ ケニア人・日本人専門家と全く同様に大学の教員として専門科目を担当
- ④ 学生は K.C.E 以上 (11年以上)、年令 18 年以上 (Kenya certificate of Education 小学校7年中学校4年卒業)
- ⑤ 本邦より贈与した機材 (約11億円) を使用出来る
- ⑥ ケニア人教職員 80名、日本人専門家 22名
- ⑦ 英語 (講義を全て英語で行うのを特に英語に堪能である事が望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は次々経済開発5ヶ年計画を国策に必要不可欠技術者の深刻な不足を痛感しこれに打ち出すため職業技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行って来た。本学は先頭軍にあつて今後ケニアの技術者養成及び社会への供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学(電気科)卒業以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 7月 17日

ザンビア

320 電気機器
(主として強電)

調査者氏名 奈良輪陸美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) ELECTRICAL INSTRUMENTATION TECHNICIAN	(男) 1人	訓練開始 57年 4~6月
	(日本語) 電気機器(強電)	(女) 人	派遣予定 57年 8~10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): OFFICE OF THE PRIME MINISTER

(日本語): 総理府

ロ. 隊員勤務先名称: NDOLA URBAN DISTRICT COUNCIL WATERWORKS 日本語名称 (ニドラ市役所浄水場)

所在地: P.O. Box 70197 NDOLA 主要都市からの距離 (ニドラより16キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 人口40万人, 世帯数1万户を管轄する当国第2の都市Ndolaの市役所は5局(土木, 財政, 住宅, 社会事業, 保健書記)から成り, 土木局に属する当水道課には9名のEngineerと20名のTechnicianを含む350名が働いている。現在3ヶ所の浄水場と4ヶ所の送水ポンプ場では1日当り2700万ガロンの水を供給している。

ニ. 設備概要: 浄水場は1952年に第1, 1957年第2, 1966年第3と建設され, そのいずれもが南ア製ポンプ及び英国製制御器等が使われている。最近では1973年に貯水槽が作られた。使用電力は11,000V~3,300Vが使用され, 浄水揚水場ポンプの総馬力は8000, (各ポンプの平均馬力は550-300), 制御器, 開閉器, 変圧器, 流量計(いずれも英国製) その他作業所, 事務所, 各種修理工具等一応揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は土木局水道課に属し, 上記3ヶ所の浄水場及び貯水槽, 揚水場にある電気機器類の保守, 管理, 修理に日常あたる。しかし必要に応じ②新システムの導入, 設計についても業務として要請がある。③又, 本隊員のもてい働くザンビア人Technicianに仕事を通じて訓練を施す。

1) 隊員の業務上の地位: 電気機器技師 (EngineerとTechnicianの間である)

2) 技術の範囲: 上水道設備に必要な全ての電気機器類の修理及び保守管理にあたる(強電)。必要に応じ, 設計, 現地人技術者の訓練に当る場合もあり得る。

3) 業務の形態: 現場指導及び修理

4) カウンターパート: 25才, 35才の専門学校卒 現地人 Technician 2名

5) 現地で利用できる機材: ほとんどの修理工具が揃っている。

6) 職場に於ける第3国人: インド人, スリランカ人 コントラクター 多数

7) 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国は依然として資格を有した電気技術者が非常に不足しており, 又, 市財政も乏しく, とて優秀な外国人コントラクターを雇えないこともあって JOCUによる管理めとしての要請が出されたものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 高卒以上 ② 経験3年以上 ③ 電検3種有資格者以上

④ 上水道関係にたずさわった経験があればより望ましい。

⑤ 英語必須 ⑥ 車運転免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年9月5日

320 電 気 機 器
(注として強電)

調査者氏名 茂木昭次

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Honduras	(現地公用語) Electricidad	(男) 1 人	訓練開始 年 月
ホンジュラス	(日本語) 電気	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministerio de Educación (文部省)

1. 配属先名称 (現地公用語): Centro Tecnico Hondureño Aleman

(日本語): ホンジュラス・ドイツ技術学校

ロ. 隊員勤務先名称: Centro Tecnico Hondureño Aleman 日本語名称 (ホンジュラスドイツ技術学校)

所在地: サンペドロスーロ市

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: この学校は日本の工業高等学校に相当する優秀な技術学校で機械科をはじめ自動車整備科、電気科、溶接科等あり、大規模の大きい学校であります。

ニ. 設備概要: 電気科には十分な機器が設備されておりますので授業を行なう上では問題はありません。

(2) 隊員の業務内容:

この技術学校での隊員の仕事は、電気科の教官への技術指導ほもとの他、授業カリキュラムの編成又は校正、生徒への直接指導(授業)も行ないます。

① 隊員の業務上の地位: ホンジュラスドイツ技術学校 電気科 教官

② 技術の範囲: 電気配線、電気機械、空気冷調

③ 業務形態: 教官への技術指導

④ 対象者及びカウンターパート: 直接の対象者には電気科の教官に存ります。その中からカウンターパートとしてホンジュラス教官(1名)と相互協力するのが望しい。

⑤ 現地のオーストリア人及び日本専門家: 今現在はありお設立当時ドイツの援助による技術学校であるため、ドイツ人がおりました。この6年間は、この技術学校に入っております。

⑥ 使用する言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンジュラス政府の育成教育にける期待は大きく日本製品が市場を占有にあり、その技術は強く求められている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 実務経験: 4~5年

2. 年齢: 25才以上

3. 尚、指導経験があれば望しい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

通信電力
316 自家発電機

記入昭和 55 年 4 月 日

調査者氏名 平川 潔、中野 勝子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ 共和国	(現地公用語) Road Engine Generator	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 内燃機発電機	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Dade Telecom. Corp.
(日本語): 郵電公社

ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 ()
所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 不明.
ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 通信局及び無線局の保守・整備
/ 修理に専任

② 送信機・受信機等の保守・修理に専任
/ 修理に専任

③ 無線局の保守

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

ガーナ共和国の通信局の保守・修理に3年以上の経験があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年9月4日

322 電気工事

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Industrial Electricity (日本語) 電気工事	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 57年4月 派遣予定 57年8月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Construction Manpower Development Foundation

(日本語): 建設人材開発協会 Foundation (本部はマニラ)

2. 隊員勤務先名称: Construction Manpower Development Foundation (日本語名称)

所在地: 未確定、地方都市のうちどこにか1か所 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 同 Foundation は工業省下の建設工業採用の下部組織としてつくられたばかりである。同 Foundation は建設(プラント類を含む)関係の熟練労働者育成のため約25万人を全国各地で57年計画で訓練する。

4. 設備概要: 実際の訓練は全国各地の既存の設備施設を用いて実施する。しかし必要工具・材料等は C.M.D.F が送与する。

(2) 隊員の業務内容

C.M.D.F は建設関連のみに特化して訓練を行う。訓練は9都府県あり。このうち電気工事も受け持つ。C.M.D.F の本部はマニラにあるが、隊員が実際に仕事をするのは地方である。現地のどこにどうように場所が明確になっている。しかし既存の設備施設を利用するので M.Y.C (青少年職業訓練) のような全国に事務所・訓練所を持つ機関とのタイアップが考えられている。

隊員のカウンターパートは同職種職員の職業訓練教官である。通常の隊員の業務は同職種の ① Training module の作成 ② 研修期間の操作デモンストレーション ③ 訓練教官の補佐として働き ④ 訓練生(21才〜45才まで)を直接指導する ⑤ 訓練教官に代わり視察した場合は訓練終了後の評価を行なうことである。

1回の訓練期間は4ヶ月で1982年4〜5月からスタートの予定である。訓練生の数は実際に開設される場所によって異なるが数十から数百になる。

技術: 工業プラント 工場などの電気機器 (配電盤、トランス等) の設置および配線等の工事の仕方を指導する。しかし電気機器類の保守についてはあまり知識・技術を要求されない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンにおいても工業分野での熟練労働者の供給不足は急務の事柄である。当国ではこれを達成するため各種職業訓練の充実に力を入れている。このような各種職業訓練の一つとして、特に建設関係で(しかも青年ではなく若年層を含めた成人の職業訓練を行なおうとしているもので期待は大きいものがある。(ちなみに訓練生には生活補助金も支給される))

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は問われないが、(実務経験)を有する: c が必須条件である。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 1日

322 電気工事

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Interior Electric Wiring	(男) 1人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 322 電気工事	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57年 7月 受入期限 57年7月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Public Works & Urban Development
(日本語): 建設省

ロ. 隊員勤務先名称: Directorate of Architecture 日本語名称 (建築局)
所在地: ダッカ 主要都市からの距離 (多分市内)

ハ. 事業規模及び内容: 公共事業の学校, 病院, 各種研究機関, 試験場, 公園, 官舎, 公園等の設計, 施工, 監理を行なっている。

ニ. 設備概要: 建設省として独立した建物を所有し, 局長以下建築技師, トレーサー約40名等がいる。

(2) 隊員の業務内容: 都市計画にそって, 公園, 住宅, その他政府機関の建物とそれに付随した設備の建設をしている。経験は意味での電気配線の専門家以外はいない。

① 隊員の業務上の地位: 本局には, 建築局長1名と副局長3名, 主任補佐建築士15名程があり, 隊員は建築士と同昇でその下にトレーサー等40名程いる。

② 技術の範囲: 屋内配線設計に関する技術。日本の電気工事士クラスで設計を何度かした人ならば充分なせる。

③ 業務の形態: 中央官庁における設計専門。

④ カウンターパート: 特にカウンターパートは指名されておらず, 対象者はいない。

⑤ 現地で利用できる機材: 基本的な製図用具はそろっている。

⑥ 取場におけるオウサン人等: JOCV造園隊員

⑦ 使用する言語: ベンガル語。配属先ではベンガル語でも英語でもよから意思疎通が完全になされることを期待している。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

電気配線の専門家がおらず, 建築後壁をつたわせる方法で美観を損ねることや, エアコン設置の許容範囲等安全に保つる面で改善を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専, 大卒以上。中央官庁本局詰で, 修士クラスを期待しているため, 高専卒以上の学歴が必要。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 15 日

320 電気工事

調査者氏名 岩橋一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 <u>55</u> 年 <u>9</u> 月
	Electrician	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 <u>56</u> 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of culture and social service
 (日本語): ~~文化社会福祉省~~ 文化社会福祉省
- ロ. 隊員勤務先名称: Karurumo Craft Training Centre 日本語名称 (カルク技術訓練所)
 所在地: Karurumo, Embu 主要都市からの距離 (ケニアより 25 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 電気師のほか自動車整備、洋裁、農業等の訓練コースがあり
それぞれ 20 名程度の訓練生を抱えている。
- ニ. 設備概要: 10 坪程度の 7-7 エアコン 教室あり。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 電気工事コースの指導員
- ② 技術の範囲: 屋内・屋外の配線工事等電気工事全般にわたる。
- ③ 業務の形態: 教師である。
- ④ 研修者: カルク-10-1 の研修生にたいして生徒の平均年齢は 15 才位
- ⑤ 利用可能な教材: 交換要員(教材) 研修者の教材が利用できるが十分とはいえない。
- ⑥ 労働時間: なし
- ⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ケニアにおいては技術者の養成が各分野にわたって強く要望されている。
電気工事の技術者を育てる本プロジェクトのカルク技術訓練所(研修者)にたいして
地元の人々から大きな期待を寄せられている。カウンターパート教育まで
協力施設の協力に任せてくれる心算を思料する。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- (工業高校卒業以上) (電気師全般的について英語で教えらるること)
(学習機会をふくむので実務の経験もある程度あること)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 19日

320 電気工事

調査者氏名 後藤 俊男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	現地公用語) Electric Works 日本語) 電気工事	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Labour, Youth and Sports
(日本語): 労働、青年、スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: Monrovia Vocational Training 日本語名称 (モロビア職業訓練所)
所在地: Center Monrovia 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

中央の援助により、中間技術者育成のための新設職業訓練校

ニ. 設備概要: 現在設置校校の検査中。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の地位; 教官

② 技術の範囲; 電気工の検定、教材の準備、実技及び一般管理

③ 業務の形態; 職訓において教官として指導に従事する。

④ 対象者及びカテゴリー; Assistant Instructor (リベリア)
カ. カテゴリーとして取り扱う。
対象者はセカダリーレベル卒業程度。

⑤ 言語; 英語。

(3) 受入希望の理由と受入国の期待:

中間技術者育成の急務であり、J.O.C.T. における期待は極めて大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験3年以上、英語の堪能。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月2日

322 電子機器

調査者氏名 神谷弘可 *Shinko*

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Electronic Instruments	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子機器	(女) 人	派遣予定 57年 1月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Nueva Vizcaya School of Arts and Trades (NVSAT)
(日本語): エイビビスカヤ 工業学校

2. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ()

所在地: Bambang, Nueva Vizcaya 主要都市からの距離 (マニラより251キロ)

3. 事業規模及び内容:

電気科, 電子科, 自動車科, 溶接科, 陶芸科, 木工科, ドレスメイク科, 家政科を有する工業学校の一つであり, 教職員数 58名

4. 設備概要: 電子科には, 中古自走テレビ 1台, プリンター, スピーカー, 2台, 若干の工具のみ

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: テクニカルアドバイザー ~~技術~~

2. 技術の範囲: エレクトロニクス, TVの修理技術, 教育用 ~~教材~~ の作成, 教育内容の改善

3. 業務の形態: 現地へ入って行く一対多の技術指導, 直接学生に対する講義, 必要に応じてコニエーターに代わる技術指導等

4. 対象者及びそのニーズ: 技術水準
カレッジ, コンクリーヴの学生及び地域の成人。成人は地域の労働者で科歴は5~6年程度

5. 現地で使用する器材:
ほんのりとしたいい感じ

6. 3人組の配置

7. 使用する言語:
英語, (ロカ) 語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請

潜在失業者の多い地方都市では1人でも多くの技術者身につけて, 就業の機会を拓くことは重要なことである。特にエレクトロニクス, TV修理技術の協力の隊員に要望されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学電子科卒業, 経験2~3年

(この地域ではカラーTVは未だ普及していない)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 19 日

322 電子機器

調査者氏名 新津 照三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Electronics	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子機器	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial Polytechnic State College
(日本語): ドン・マリヤノ・マルコス 記念州立工科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)
所在地: Cagayan de Oro City Misamis 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 大学高校で生徒数 約 1700 名、教職員数 約 80 名と フィリピンに於けるこの種の学校では中程度の規模。

ニ. 設備概要: 数年前よりオランダのオランダ・テックがおり、簡単な実験が可能な程度の機器以外の設備。

(2) 隊員の業務内容:

隊員の Instructor technician に対して技術指導と実験実習の主任として直接生徒に教えることを行う。

隊員の業務上の地位: Teaching staff として関係者に 対して技術指導
技術の範囲: 電子機器の理論から、電気科の設置まであり、
このほか、この科の関係者に 対して技術指導をして
欲しいと 17 いる。

業務の形態: 大学内に於ける Instructor technician に対して
技術指導。

対象者及びカウチンパートの技術水準、年齢の年令:
大学高校の Instructor 又は Technician であるか
殆んどは同種の大学卒業はあり、知識の比較的
豊富であること、応用面での水準がある。
年齢は 25 歳から 45 歳。

現地で利用可能な機械: 簡単な実験機器以外のほか、隊員が赴任後必要
な機械を準備することになる。

使用すべき言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

以前、英国、オランダからのオランダ・テックが在りて現在はいない。その後
日本の技術力を高く評価していると同時に、国際関係活動もよく理解しており
特に State College には、この日語を、組織、設備拡充に力を入れている。
今回最初の隊員要請と、このことである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒業程度、数年の実験と、年齢は 17 歳 25 歳以上を望む。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年10月21日

322 電子機器

調査者氏名 山崎 昇

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Electronic Instruments	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子機器	(女) 人	派遣予定 56年8,10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bohol School of Arts and Trades
(日本語): ボホール工芸学校

ロ. 隊員勤務先名称: 全上 日本語名称 (航空機)
所在地: Tagbilaran City 主要都市からの距離 (セブより20分)

ハ. 事業規模及び内容: 別添写真の様子から状況の中で、午前、午後に分け、高校部、大学部の学生50人程度に、簡単なラジオの作製実習及び回路等の理論の講義が行われている。

ニ. 設備概要: 2年前の火災でほとんどの機材を失っており、校舎も仮りの建物である。しかし、来年度の予算で校舎等の建設が承認されており、1年以内には充実すると思われる。

(2) 隊員の業務内容: 現在、同校大学部を卒業した二人の若い先生が午前、午後に分け、高校部、大学部の学生約50人に教授授けしているが、知識、経験共に未熟なため、先生への指導もさることながら出来れば直接学生への教授を期待されている。

1. 隊員の業務上の地位: インストラクター
2. 技術の範囲: ラジオ、テレビの基礎理論及び修理技術
3. 業務の型態: 学生に対し、直接実習、理論を教授すると共にインストラクターへのUPグレードも企画実施する。

4. カウンターパートの技術水準及び学歴、年令: 同校大学部卒。

5. 現地で利用出来る機材: 別添写真程度

6. 必要国人等の配置: なし

7. 使用する言語: セブアン、英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 電子科の再建及び内容充実、具体的には教材の開発、インストラクターの育成にある。

(新規要語)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
高専卒程度、特に機材の少ない中での活動となるので、創意工夫が望まれること、理論、実習の指導経験があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年9月12日

330 電子機器
(主として弱電)

調査者氏名 竹花 玲児

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Electronic Instruments	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子機器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower & Youth Council
(日本語): 職業訓練及び青少年対策省

ロ. 隊員勤務先名称: Office of Manpower & Skills Development 日本語名称 (職業訓練課)
所在地: Taguig 市 Fort Bonifacio 主要都市からの距離 (マニラより10キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 大統領府の機関で、本部、地方の出先機関10あまりを含む職員は1,300名程度。事業内容は、技能労働者の養成、レベルアップして、学歴のない青少年に技能労働者として社会参加を促す。

ニ. 設備概要: 訓練科目別の教室、教材貸し出し部門、視聴覚機材、図書館、食堂、寄宿舍などがある。

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 隊員の業務上の地位は、本部訓練所、電子科主任のコンサルタントである。
- ・ 技術の範囲は工業制御における電子技術一般、デジタル制御、インターフェース技術、工業製品製造設備のシステム設計における電子制御技術。
- ・ 業務の形態は、技術講習という形。
- ・ 対象者は、工場技術者、職業訓練校の講師。
- ・ カウンターパートの技術水準は、ラジオ・テレビ修理と、工業制御の基礎理論を知っている程度で、実務経験がない。学歴は大卒で26才。
- ・ 現地で利用できる機材は、マイクロコンピュータトレーナー、シーケンスコントロールトレーナー、8.16mm プロジェクター、Uマチックビデオテープレコーダー。
- ・ 職場には、電気科、機械科、自動車科、溶接科、機材図書館(電気電子系)にJOCV隊員が配属されている。電子系のJICA専門家が1人OMSDのコンサルタントとして配属されている。
- ・ 使用する言語は英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 竹花玲児隊員(56、電子機器)交代
ラジオ・テレビ修理技術から工業制御に電子技術が必要とされ、実務経験が重要であるこの分野に適任者が配属先にはない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
学歴は大卒以上で、技術講習に慣れている人、ビジネス英語に精通している事、工業制御の設計、工事について実務経験5年以上
現地到着時の年齢30才以上が望ましい

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 10日

322 電子機器

調査者氏名 真野 忠行

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Electronics & Communication	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子機器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): ministry of Education.
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: politeknik 日本語名称 (クワンタン高等専門学校)
所在地: Kuantan 主要都市からの距離 (市内より 5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1976年創設され中堅技術者の養成を目的としている。日本の程大に相当し、修業年限は2年。自らはクワンタン工業高校に後任し、同校の施設を利用して授業が行われている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

。Lecturerとして中等職業訓練校又は普通高校本業者を対象に電子工学について、実習指導にあたる。

。電子工学の基礎、ラジオ・テレビ・オーディオその他電子機器の修理 マイクロプロセッサについて、知識を有している事が必要である。

。現在、野村、平次両隊員が同科で活動中。

。マレー語で授業を行う。

。携行可能な教材を。(これは自分の大学の専門書の携行が望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本国の教師は理論に強いが実務的・その応用力に乏しいので、この面での協力に期待が大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒又は、短大卒
実務経験 2~3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

58.9.20 現瓦

記入昭和 54 年 9 月 15 日

322 電子機器

調査者氏名 草野忠経

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Radio & T.V Servicing	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) ラジオ・TV修理	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education, Technical & Vocational Education Dept.
(日本語): 文部省 技術・職業訓練教育局

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokasional 日本語名称 (職業訓練高校)
所在地: Taiping 主要都市からの距離 (Taipingより 9 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 中学卒業者を対象とした 2年課程の職業訓練高校。
冷凍装置, ラジオ・TV修理, 電気工事, 工作機械, 自動車整備, 溶接の
各学科がある。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 中学卒業程度の生徒を対象に、ラジオ・TVの修理技術に
関する実習指導に協力する。

生徒は 中学を卒業する時点で上級学校への進学資格が得られ就職に備えて
職業的技術習得を志す者が一般的に少ない、特に数学の知識が充分
でないため指導上の障壁となっている。 学

教員は、技術教員養成大学: 修業年限3年 - 10で教育を受け勤務年限1~3年の
経験と有する。

授業は マレー語で行われる。

特に携行を要する機材は少ない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は 産業実務経験が乏しく知識は教科書のみに依存している。
実務経験豊かな隊員から進んで技術を吸収すると共に校風確立のため
日本人の勤勉な姿勢を学ぶたいとしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専ら 高校卒業以上, 実務経験 2~3年以上,
カーテレビの修理技術及び知識を有している事。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 7 月 8 日

322 電子機器

調査者氏名 真野 志紀

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Radio & TV Servicing	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) ラジオ・TV修理	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education

(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokasional

日本語名称 ()

所在地: Johor Bharu

主要都市からの距離 () より () キロ

ハ. 事業規模及び内容: 中学生を対象とした 2年課程の職業訓練高校

冷凍機器, ラジオ・TV修理, 電気工事, 工作機械, 自動車整備, 溶接の
各 2-3 がある。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

ラジオ・TV修理

中学卒業程度の生徒を対象に自動車整備に関する実習指導に協力する。

生徒は中学を卒業する時点で上級学校への進学資格が得られず、就職に
備えて職業的技術習得を志す者で一般的に学力が低い。

教員は、技術教育養成大学(3年課程)を卒業し、勤務経験 2~3年程度。

校舎は 2 階建て。

特に携行可能な機械材あり。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教員は、卒業実務経験が乏しく知識は教科書のみに依り存在して
いる。実務経験豊かな隊員から進んで技術を吸収すると共に技術
確立のため、日本人の動機を奨励して学ぶこととしたい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専ら高校卒業以上。実務経験 2~3年以上。
カー・テレビの修理技術及び知識を有している者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 17日

322 電子機器

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Radio / T.V.	(男) 1 人	訓練開始 56年 4月
	(日本語) 322 電子機器	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56年 8月 受入期限 56年 8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Manpower, Employment and Training (BUMET)
(日本語): 労働社会福祉者職業訓練局

ロ. 隊員勤務先名称: Technical Training Centre, Milpurz 日本語名称 (ミルプール職業訓練センター)
所在地: Milpurz, Dacca 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1953年開設 37年の歴史を有する伝統ある取組。現在はラジオTVその他、ITPコン、自動車建築製図、機械製図、工作機械、電気工事、木工、鋳造等11コース約1,000名の生徒、50名の教師。

ニ. 設備概要: 国庫援助により 機械は完備。シグナルレター、オーディオ、オーディオ等未使用のまじり22室確保

(2) 隊員の業務内容: Comilla 取組が 80年7月開設予定であり、計画通りであれば新設の Comilla に配属となるが、計画が遅れた場合、ミルプールとする。4ヶ国コン取組に ILO 専門家 (JOCTOB) がおり、その指示でミルプールも機械が入っている。

① 隊員の業務上の地位: 校長下の教官

② 技術の範囲: ラジオ修理が中心。TVのカラー放送も近々実施の計画はあるが現在は白黒のみ。6ヶ月コースのため、高度の技術は求めない。

③ 対象者及びカテゴリー: 生徒は10学年卒、約40名

④ 現地で利用できる機械、土記設備

⑤ 取組における外国人等: 現在なし。近々将来 ILO 専門家 (JOCTOB) が4ヶ国より西蔵の予定

⑥ 使用語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ILO 専門家の助言をうけて JOCTOB が好評で、2次5年計画 (1980年7月よりスタート) による新設10ヶ所には JOCTOB の要請があった。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 8月 24日

322 電子機器

調査者氏名 平沢 昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可)	人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment
 (日本語): 青年雇用省

2. 隊員勤務先名称: National Apprenticeship Board 日本語名称 ()
 所在地: 4 & b, Dharmarama Road, Colombo-6 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 年予算 4100万ルピー。1971年に出しこを政令により、翌72年に設立し、青年を一般企業にかけする on-the-job training (4年間) に派遣し、その後、工場で修業し、その後は 技術修得を証する修了証を発行して就職に促すこと。

4. 設備概要: Boardの事務所の建物のみ。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: Inspector

2. 技術の範囲: ラジオ、テレビ修理に関する理論と実技。但し、業務の内容が下記のとおりであるので、単なる教科書的な理論ではなく、実践技術に直接役立つものとして、実技面での工場の経験は無くとも遂行可能と思われる。

3. 業務の形態: craft apprenticeship と相当し、4年間にわたる。企業での訓練を終了した者に対する資格認定のための試験を行はる。問題の作成及び答案の採点が主業務となる。

4. カリキュラム等: 特定カリキュラムはないが、当該分野での知識に必要と認められる場合は大学工学部卒3年程度の経験とあり、年齢は25~30才程度。

5. 現地で利用している機材: 特になし。

6. 母国語等: ...

7. 使用する言語: 英語。業務が上記のとおりなので、読み書きの出来は必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在政府の進める開発計画の本柱のひとつは自由貿易地帯にかけ工業の開発が含まれているが、特にテレビの分野は最近始末ばかりで、同工業地帯の人材供給が当面の課題としてあり、技術をもった工員育成の一環として本要請が出された。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(工業卒以上5年以上の実務経験) 職業訓練教育に携わった経験者が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 6 月 16 日

330 電子機器
(主として弱電)

調査者氏名 奥原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア共和国	(現地公用語) Electronique (VTR System) (日本語) 電子機器 (322)	(男) — 人 (女) — 人 (どちらでも可) 2人	訓練開始 56 年 9 月 派遣予定 57 年 2 月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Office des Travailleurs Tunisiens à l'Etranger de l'Emploi

イ. 配属先名称 (現地公用語) et de la Formation Professionnelle, Ministère des Affaires Sociales
(日本語): 社会事業省チュニジア・外国労働者雇用職業訓練局

ロ. 隊員勤務先名称: 現行の CIPE (Centre d'Instruction Tunisie) 所在地: ed de Perfectionnement d'Electronique
日本語名称 (電気技術者職業訓練センター) 主要都市からの距離 (Tunisより 0 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 電気関係の専攻とする職業訓練センターで、電子科(ラジオ・TV)、電気機械、冷機機械、屋外配線の各科がある。常時約 150 人の生徒が訓練を受けている。修業年限は 1 年前後。今回、電子科の学生増員のため教育方法を改善し、VTR による教育システム(ソニ-社)を導入する。

ニ. 設備概要: 電気に関する訓練所としては当国でトップクラスである。電子科に限れば、これほどの協力隊員の派遣実績もあり、設備・機材としては充実している。

(2) 隊員の業務内容: 上記ハ. 記載の教育方法改善のため、JICA の単独機材供与で新しく導入された VTR システムによる教育は '82 年 4 月より予定されている。隊員は本システムによる教育のカリキュラム作成やその応用、機材の保守・取扱い等と現地人教師に指導しつつ、自らこれに従事する。

- ① 隊員の業務上の地位: 高等職業訓練所の教師(指導員)
- ② 技術の範囲: ラジオ・TV(カラ-)に精通していることは言うまでもなく、上記 VTR システムによる教育は将来他の学科へ導入の予定なので、電気一般の基礎に明るく応用できることが要求される。
- ③ 業務の形態: 当初は語学が得意なので、指導というよりも、隊員が直接機材の保守・取扱いやカリキュラムの作成・組立等にあたることになり、あるいは、現地人教師の指導ということになる。勤務時間は、月～金で週 32 時間、土日は休みである。なお、6月15日～9月15日の 3 ヶ月間は夏季勤務時間となり、6:30～13:30 の 6 時間 × 50 (日～金) の 30 時間である。

④ 対象者及びカウラーレポート: 学生は高卒(17・18才)ではあるが、その後、学力は日本人学生よりもかなりある。カウラーレポートである教師は、日本の工業短大卒業程度であり、フランスで専門技術と学んで 22才～34才の者の中から決まったことになっている。

- ⑤ 現地で利用できる機材: 数種類としてはほぼ充実している。VTR システムは '82 年 3 月設置予定。
- ⑥ 外国人: CIPE はすでに日本によるプロジェクトと併せており、隊員 2 名、JICA 専任家 (CB) 1 名が現在勤務中。隊員 2 名 (未件) と専任家 (CB) 1 名は新たに要請中。

⑦ 使用言語: フランス語 (訓練上はじめて取組んで取得し、後は現地に滞在等で取得予定)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国で考えている協力とは、実利と現実主義に基づいたものであり、日本側が考えている理想主義との間に大きなギャップがある。

職業訓練所では、日々の技術革新にマッチした技術訓練を行わねばならないので、新システムを導入とその活用は現地側の期待は大きい。また CIPE への隊員派遣は、昭和 50 年 10 月より継続しており、その残った実績も、今後大いに期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴: 大学卒が望ましいが、高等卒程度であればよい。(ラジオ・TV(カラ-)に明るいこと)

実務経験: 2 年程度 (技術的観点からでは無く、新年は考えが甘く、向題が多いこと)

VTR システムによる教育について経験なき場合は、現在派遣中の JICA 専任家 (CB) によって派遣先技術研修(ソニ-社にて)をアレンジすることが考えられる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

322 電子機器

記入昭和 55 年 3 月 15 日

調査者氏名 柳井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語) Radio - TV	(男) 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) ラジオ TV - 一般	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 1 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministère des Transports et des Communications
(日本語): 運輸通信省

2. 隊員勤務先名称: Ecole des Postes et des Télécommunications 日本語名称 (郵便電気通信学校)
所在地: Km 4 Route de Raoued, ARIANA, Tunis 主要都市からの距離 (Tunisより 4 キロ)

3. 事業規模及び内容: 本校は 1972 年に運輸通信省の幹部職受養成のため設立された学校で現在、郵便、電気通信、情報管理の 3 部門を有し、それぞれ生徒数 300 (電気通信) 150 (郵便) 150 (情報管理) に対し 35 名の教員が 1 年～4 年のコースにより専門教科を教えている。
4. 設備概要: 電気通信分野 (ラジオ、テレビ、電話等) の教授用機材、計器類、放送中継車はほとんど揃っている。隊員の活動分野によっては勿論追加するべきものも多くなるであろう。

(2) 隊員の業務内容: 本校は 600 名のうち電気通信分野は 300 名の生徒がいる。基礎課程と専門課程の二つに分れ、基礎課程は約 60 名で 1 年コース、バカレパに落ちた者が選抜試験で入学させ、1 年後に技師補として電気通信関係、放送関係へ配属される。専門課程は 2 年コース 140 名、4 年コース 100 名で、いずれもバカレパ (大学入学検定) に合格した者が成績順に入学させる。2 年コースを終った者は技師補に、4 年コースを終った者は技師に任命されて省内のしるべき部門に配属される。隊員の任務は大学工学部の講師と同程度と考えられる。ラジオ・テレビの理論および実験指導送信から受信まで一応すべてについて授業する。隊員の能力を見て、何学年を指導するかを決定することになる。何れもフランス語で専門技術を教えられる力を持つていなければならぬ。生徒の年齢は 17 才～23 才位で、70% が男子 30% が女子である。無線工学基礎、ラジオ送信、ラジオ受信、テレビ送信、テレビ受信、電波伝播、空中線等すべてについて広く知識を有し生徒に判り易く教えられることが肝要である。当国のテレビは PAL 方式および SECAM 方式を採用していることこの面での知識を十分に持つていなければならぬ。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在フランス人講師が 3 名おとすべしチュニジア人講師 2 名より今年 9 月からの新学期にはフランス人は 1 名のみとなる。電気通信分野で大きな発展を期待している日本の技術への期待は大変なものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について◎印で囲むこと): 大学工学部の講師と同程度の授業を行なえる者◎大学工学部卒、経験 2～3 年、望むらくは大学院修了者。フランス語により電気通信、電波の理論を教授し、実験の指導ができること。テレビ方式については PAL と SECAM を研修しなくてはならない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 2 月 25 日

330 電子機器
(主として調電)

調査者氏名 奈良輪陸美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガンビア	(現地公用語) Radio/TV Repair	(男) / 人	訓練開始 56 年 12 月
	(日本語) 電子機器	(女) 人	派遣予定 57 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF LABOUR AND SOCIAL SERVICES
(日本語): 労働社会事業省

ロ. 隊員勤務先名称: VOCATIONAL REHABILITATION CENTER 日本語名称 (身障者職業訓練センター)
所在地: P.O.Box 6400 NDOLA 主要都市からの距離 (ポロナリ市内から)

ハ. 事業規模及び内容: ガンビア政府(労働社会事業省, 社会福祉局), 労働者救済基金, フロントの資金援助により ILO のプロジェクトとして身体障害者(肢体不自由者, 盲人, 聾啞者)の授産施設の機能をもっている。現在, 鋳加工, 木工, ラジオテレビ修理, 事務タイプ等の 4 コースが設けられている。

ニ. 設備概要: 各コースとも, 最低必要限度の設備が設けられ, 同敷地内に訓練生の宿舎も有する。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の職務上の地位: ラジオ・テレビ修理の指導員として従事

2. 技術の範囲: 身体障害者が自立できる様, 主として実際にラジオ・テレビの修理と指導するだけの能力, 技術を必要とする。

3. 業務の形態: 教室にて講義と実習を行なう他, 同センターの他の活動等にも積極的に参加する。訓練計画は文部省職業訓練局のカリキュラムに基づいて作成され, 又, その指導を受けている。

4. 対象者: 訓練生は全て身体障害者であり, 訓練期間は 1 年半, 訓練生は 10 人である。卒業時, 同国家試験委員会の実施する修了試験に合格した者には修了証書が発給されている。

5. 機材: 必要最少限度の工具, 実習機器は備えられている。

6. スタッフ, 訓練生等: 指導員 7 名, 準指導員 3 名, 訓練生は各コース 10 人の全訓練生 40 名。

7. 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ハンディキャップをもつ人達の職業あせん, 訓練, アップグレードについてはガンビアにおいて未発達段階であり, 単に職業訓練の指導にとどまらず, 全人格的なアプローチを期待されている。可能な限り, 日本においても身障者授産施設等での実務経験を有し, 情熱のある隊員の派遣を希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 高卒 (電子科) 以上 ② ラジオ・テレビ修理に熟練していること ③ 身体障害者授産施設等でのボランティア経験のある者が望ましい。④ 単車免許取得 ⑤ 実務経験年数, 3 年以上